

# 飯田市立病院概要

第18号



発行：平成25年8月

飯田市立病院

## 飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康を支え  
信頼される医療を実践します

## 飯田市立病院 基本方針

- 1 私たちは、安全・安心で良質な医療を提供します
- 2 私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、患者さんの立場に立った医療を実践します
- 3 私たちは、地域の保健、医療、福祉機関と密接に連携します
- 4 私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上と職員が誇りや、やりがいの持てる職場づくりを行います
- 5 私たちは、公共性と経済性を考慮し、健全な経営に努めます

## 飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、

誠意 熱意 創意

をもって医療を実践します

# 飯田市立病院

飯田市立病院は、患者さんの権利と意思を尊重し、信頼される良い医療を行うために、患者さんの権利と守っていただきたい責務を定めます。

## 1. 良質の医療を受ける権利

適切で良質で最善の医療を公平に継続して受ける権利があります。

また、必要な時にはいつでも、医療従事者の援助・助力を求める権利があります。

## 2. 選択の自由の権利

病院や医師を自由に選択し、または変更する権利があります。

## 3. 情報を知る権利

治療や症状について真実を知り、担当医師や受け持ち看護師より納得ができるまで十分に説明を受ける権利があります。その説明に対して納得がいけない場合、担当医師以外の医師に意見を聞く権利があります。

## 4. 自己決定の権利

十分な説明を受け、治療方法を自らの自由意思で選択し、治療を受ける権利と治療を受けることを拒否する権利があります。

# 「患者の権利と責任」

## 5. 機密保持をえる権利

診療や治療で医師や従事者が知りえた全ての患者情報、全てのプライバシーの機密保持をえる権利があります。

患者さん本人の承諾なくして、第三者に開示されない権利があります。

## 6. 尊重される権利

自ら病を克服しようとする主体として、医療の場において常にその生命・身体・人格が尊重される権利があります。

人間的な終末期ケアを受ける権利を有し、できる限り尊厳を保ち、安楽に終末期を迎えるためのあらゆる可能な助力を受ける権利があります。

## 7. 情報を提供する責務

医師をはじめとする医療提供者に対して、自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する責務があります。

## 8. 医療に協力する責務

全ての患者さんが等しく上記の権利を行使するためにも、病院の規則を守り、提供される医療に協力して、できるだけ健康的な生活習慣を身につける責任があります。

また、他の患者さんの治療に支障を与えないように配慮する責務があります。

平成20年11月1日改訂

# 目 次

1. 概 要	5
2. 飯田市立病院組織図	10
3. 沿 革	11
4. 飯田市立病院委員会等組織表	12
5. 飯田市立病院の施設の特色	13
6. 職員に関する事項	14
7. 平成23年度飯田市立病院事業報告	
(1) 概 況	15
(2) 患者の年度別状況	18
(3) 平成23年度企業債及び一時借入金の状況	18
(4) 平成23年度飯田市立病院事業決算報告書	19
(5) 飯田市立病院事業損益計算書	21
(6) 飯田市立病院事業剰余金計算書	22
(7) 飯田市立病院事業貸借対照表	23
(8) 経営分析に関する調	25
(9) 財務分析に関する調	28
8. 平成23年度飯田市立病院クリニカルインディケーター	
(1) 病院全体	30
(2) 診療実績	33
(3) 診療統計 (D P C 関係)	48
(4) 予防医療	49
(5) 医療安全・安全対策	50
(6) 地域連携	51
(7) 在宅医療	51
(8) 教育研修その他	51
(10) 業務量	54

## 1. 概 要

・所在地 飯田市八幡町438番地

・開設年月日 当初 昭和26年3月12日 開設許可  
昭和26年12月3日 診療開始  
新病院 平成2年7月4日 開設許可  
平成4年10月27日 診療開始

・病床数 一般病床 403床(うち救急ICU 4床、ICU 4床、NICU 3床)  
感染症病床 4床(平成11年4月1日から)

・診療科目 32科  
内 科(昭和26年12月) 循環器内科(平成20年4月  
医療法施行令改正  
に伴う科名変更等)  
外 科(昭和27年6月)  
整 形 外 科(昭和29年6月) 呼吸器内科( )  
麻 酔 科(昭和48年4月) 消化器内科( )  
小 児 科(昭和49年1月) 内分泌内科( )  
脳 神 経 外 科(昭和51年5月) 糖尿病代謝内科( )  
脳 神 経 内 科(昭和51年12月) 腎 臓 内 科( )  
泌 尿 器 科(昭和53年4月) 消化器外科( )  
形 成 外 科(昭和54年9月) 乳 腺 外 科( )  
眼 科(昭和63年10月) 病 理 診 断 科( )  
呼 吸 器 外 科(平成元年4月) 臨 床 検 査 科( )  
心 臓 血 管 外 科( ) 救 急 科( )  
産 婦 人 科( ) 緩 和 ケ ア 内 科(平成21年9月)  
耳 鼻 い ん こ う 科(平成元年10月)  
放 射 線 科(平成4年10月)  
皮 膚 科(平成5年4月)  
歯 科(平成7年7月)  
リ ウ マ チ 科(平成9年1月)  
リハビリテーション科( )  
歯 科 口 腔 外 科( )

・各種指定

DPC対象病院  
地域医療支援病院  
地域がん診療連携拠点病院  
新型救命救急センター  
臨床研修病院  
臨床修練指定病院  
救急指定病院  
長野県心疾患基幹病院  
原子爆弾被爆者医療等指定医療機関  
エイズ治療拠点病院  
指定自立支援医療機関（育成医療・厚生医療）  
日本内科学会教育関連病院  
日本消化器内視鏡学会指導施設  
日本呼吸器学会認定施設  
日本整形外科学会専門医制度研修施設  
日本呼吸器外科学会専門医制度関連施設  
日本胸部外科学会認定医制度関連施設  
日本脳神経外科学会専門医認定制度研修施設  
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設  
日本麻酔科学会麻酔科認定病院  
日本形成外科学会専門医制度認定施設  
日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設  
日本ペインクリニック学会指定研修施設  
日本消化器病学会専門医制度認定施設  
日本外科学会外科専門医制度修練施設  
日本心血管インターベンション学会認定研修関連施設  
日本臨床細胞学会認定施設  
日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設  
日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設  
日本皮膚科学会認定専門医研修施設  
日本老年医学会認定施設  
日本周産期・新生児医学会周産期（新生児、母体・胎児）専門医研修施設  
日本栄養療法推進協議会NST稼動施設  
日本感染症学会連携研修施設  
日本高血圧学会専門医認定施設  
日本心臓血管麻酔学会心臓血管麻酔専門医認定施設  
日本胆道学会指導施設  
日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設

財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価「一般病院」更新認定（平成22年1月24日）

歯科医師臨床研修施設  
第二種感染症指定医療機関  
地域周産期母子医療センター  
災害拠点病院  
指定養育医療機関  
労災保険指定医療機関  
外科後処置診療指定医療機関  
日本神経学会専門医制度教育施設  
日本腎臓学会研修施設  
日本脳卒中学会研修教育病院  
日本乳癌学会認定施設  
日本消化器外科学会専門医修練施設  
日本眼科学会専門医制度研修施設  
日本小児科学会専門医研修施設  
日本核医学会専門医教育病院  
日本泌尿器科学会専門医教育施設  
日本病理学会研修登録施設  
日本循環器学会循環器専門医研修施設  
日本糖尿病学会認定教育施設  
日本超音波医学会認定専門医研修施設  
日本リウマチ学会教育施設  
日本口腔外科学会認定研修施設  
日本医学放射線学会専門医修練機関  
日本救急医学会専門医指定施設  
日本がん治療認定医機構認定研修施設  
日本臨床腫瘍学会認定研修施設  
日本静脈経腸栄養学会NST稼動施設  
日本緩和医療学会認定研修施設  
心臓血管外科専門医認定機関関連施設  
マンモグラフィ検診施設  
長野県DMAT指定病院

・施設の概要

敷地面積	40,376.50 m <sup>2</sup>	総敷地面積	75,703.67 m <sup>2</sup>
建築延べ面積			
本館	27,075.15 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート造 (一部鉄筋コンクリート造)	地下1階 地上6階
臨床研修棟	606.31 m <sup>2</sup>	鉄骨造	3階建
南棟	4,818.04 m <sup>2</sup>	鉄骨造	4階建
北棟	1,782.50 m <sup>2</sup>	鉄骨造	地下1階 地上2階
感染症病舎	331.36 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート造	1階のみ
看護師養成実習室	413.62 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート造	2階のみ
附属棟	501.26 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート造 (一部鉄筋コンクリート造)	地下1階 地上1階
別棟	324.96 m <sup>2</sup>	鉄骨造	2階建
医師住宅	木造	1戸建	18戸
看護師宿舎	393.60 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート造	3階建 1棟 15戸
職員宿舎	380.70 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート造	3階建 1棟 9戸
院内保育所	139.95 m <sup>2</sup>	木造	1戸建 敷地 516.84 m <sup>2</sup>
場外離着陸場	2,755.89 m <sup>2</sup>		(敷地面積)



■ 飯田市立病院承認施設基準等の状況 (平成25年6月1日現在)

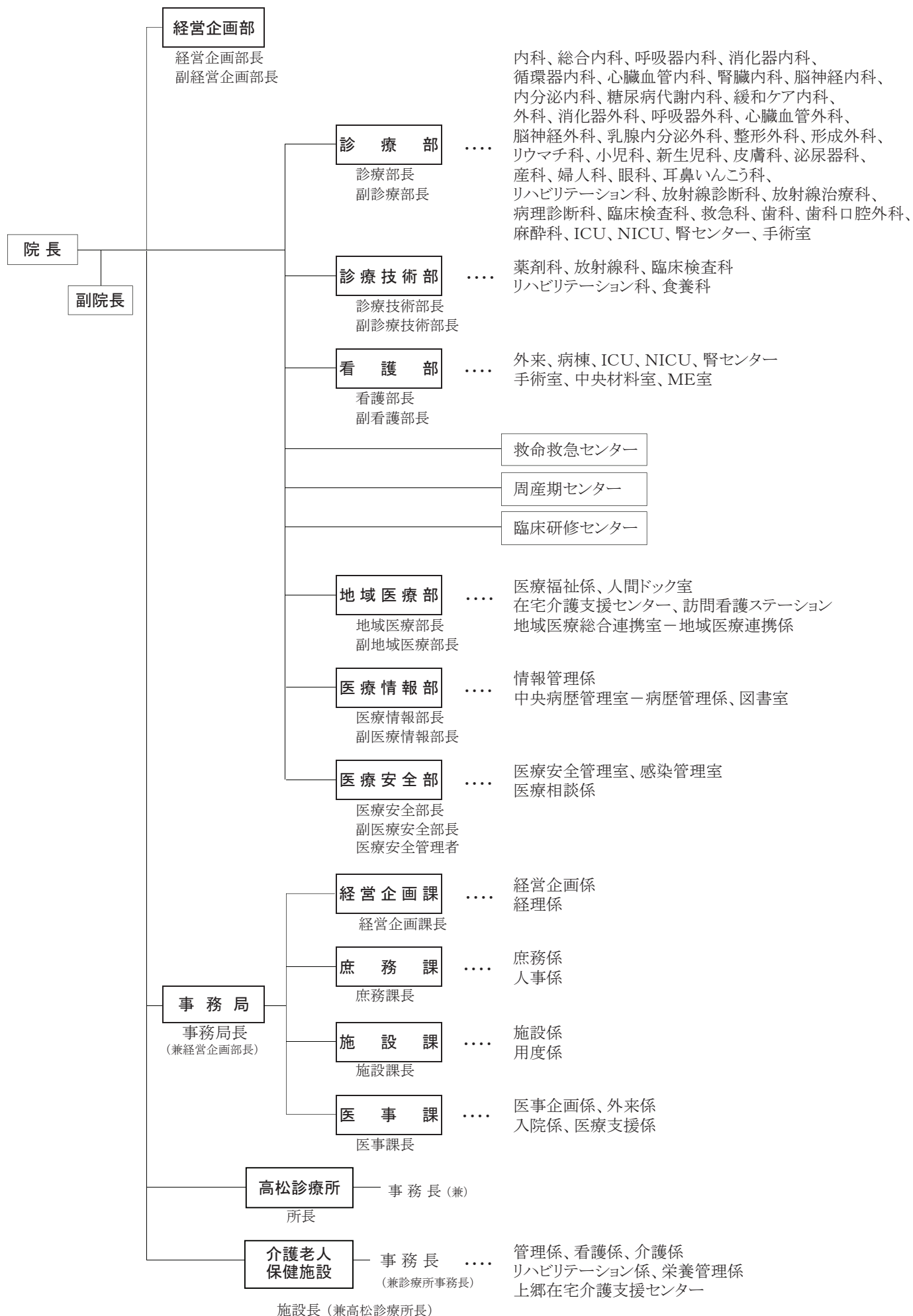
区分	項目名称
基本診療料	地域歯科診療支援病院歯科初診料
	歯科外来診療環境体制加算
	一般病棟入院基本料(7対1)
	総合入院体制加算
	臨床研修病院入院診療加算
	臨床研修病院入院診療加算(歯科に係る)
	救急医療管理加算
	超急性期脳卒中加算
	妊産婦緊急搬送入院加算
	診療録管理体制加算
	医師事務作業補助体制加算(15対1)
	急性期看護補助体制加算(50対1)
	重症者等療養環境特別加算
	がん診療連携拠点病院加算
	栄養サポートチーム加算
	医療安全対策加算
	感染防止対策加算1
	患者サポート体制充実加算
	褥瘡ハイリスク患者ケア加算
	ハイリスク妊娠管理加算
	ハイリスク分娩管理加算
	退院調整加算
	新生児特定集中治療室退院調整加算
	救急搬送患者地域連携紹介加算
	救急搬送患者地域連携受入加算
	総合評価加算
	呼吸ケアチーム加算
データ提出加算	
特定入院料	救命救急入院料1
	救命救急入院料4
	特定集中治療室管理料2
	新生児特定集中治療室管理料2
	小児入院医療管理料3
	亜急性期入院医療管理料
特掲診療料	糖尿病合併症管理料
	がん性疼痛緩和指導管理料
	がん患者カウンセリング料
	糖尿病透析予防指導管理料
	院内トリアージ実施料
	外来リハビリテーション診療料
	外来放射線照射診療料
	ニコチン依存症管理料
	開放型病院共同指導料
	地域連携診療計画管理料
	ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)
	がん治療連携計画策定料
	がん治療連携管理料
	薬剤管理指導料
	医療機器安全管理料1
	医療機器安全管理料2
	医療機器安全管理料(歯科)
	在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料
	造血器腫瘍遺伝子検査
	HPV核酸検出
	検体検査管理加算(Ⅳ)
	植込型心電図検査

■ 飯田市立病院承認施設基準等の状況 (平成25年6月1日現在)

区分	項目名称
特掲診療料 つづき	時間内歩行試験
	ベッドアップティルト試験
	皮下連続式グルコース測定
	神経学的検査
	小児食物アレルギー負荷検査
	内服・点滴誘発試験
	センチネルリンパ節生検
	画像診断管理加算1
	ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
	CT撮影及びMRI撮影
	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
	外来化学療法加算1
	無菌製剤処理料
	心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
	脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
	運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
	呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
	がん患者リハビリテーション料
	エタノールの局所注入(甲状腺)
	エタノールの局所注入(副甲状腺)
	透析液水質確保加算1
	網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
	上顎骨形成術(骨移動に伴う場合に限る)(歯科診療に係るものに限る)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る)(歯科診療に係るものに限る)
	乳がんセンチネルリンパ節加算
	経皮的な中隔心筋焼灼術
	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
	植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
	両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
	植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)
	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
	ダメージコントロール手術
	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
	体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
	膀胱水圧拡張術
	医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む)に掲げる手術
	輸血管管理料Ⅱ
	輸血適正使用加算
	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
	麻酔管理料(Ⅰ)
	麻酔管理料(Ⅱ)
	放射線治療専任加算
	外来放射線治療加算
高エネルギー放射線治療	
病理診断管理加算1	
クラウン・ブリッジ維持管理料	
入院時食事療養等	入院時食事療養(Ⅰ)
	食堂加算

## 2. 飯田市立病院組織図

平成25年4月1日現在

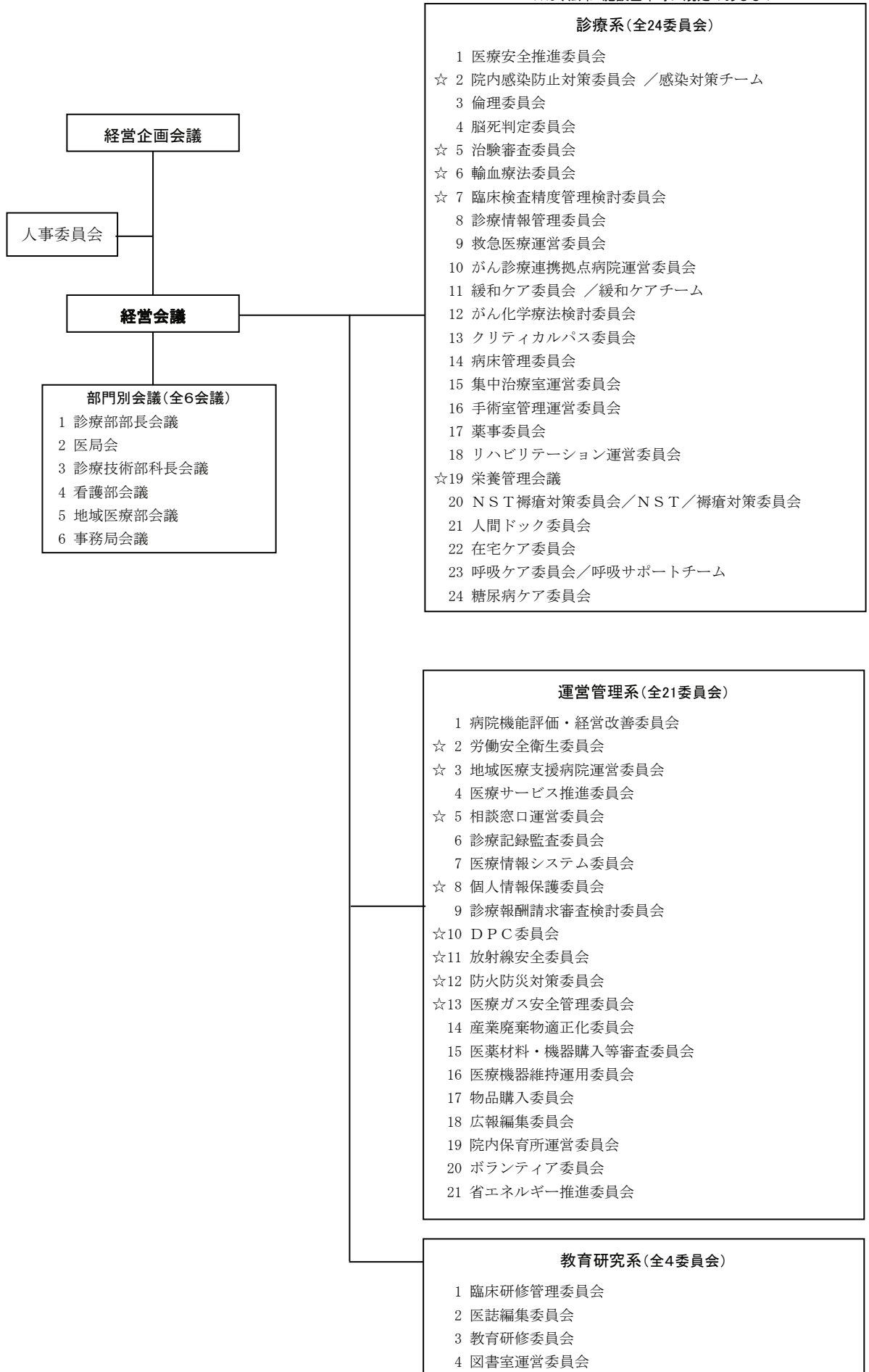


### 3. 沿革

昭和26年 3月	病院開設許可(病床数一般25床、結核9床)
26年12月	開院
40年 7月	増改築(本館) 竣工(鉄筋コンクリート地下1階)
49年 3月	中央診療棟竣工(鉄筋コンクリート地下1階、地上2階)
52年 3月	増改築(新館) 竣工(鉄筋コンクリート地下1階、地上4階、病床数一般304床、結核61床)
54年 9月	新病院建設マスタープラン作成依頼
56年 7月	同報告書完成
56年11月	病院整備研究委員会設置
59年 4月	結核病床廃止(病床数一般304床)
61年12月	病院建設研究室設置
63年12月	新病院建設基本設計、実施設計発注
平成元年11月	総合病院となる
2年 2月	新病院建設設計完了、敷地造成工事着手
2年 7月	新病院開設許可(病床数一般50床増床し、354床に変更) 建設工事着手
4年 7月	新病院本館工事終了
4年 9月	新病院竣工
4年10月	開院
7年 4月	伝染病隔離病舎工事終了
7年 7月	看護師養成実習室竣工
9年 1月	災害拠点病院指定
9年 3月	エイズ治療拠点病院指定
10年 3月	6階東病棟増築竣工(病床数49床増床し、403床となる) 外来棟増築竣工
10年 9月	検査手術棟増築竣工
11年 6月	リハビリ棟増築竣工
12年 6月	高圧酸素治療室整備
8月	場外離着陸場(ヘリポート) 竣工
9月	地域周産期母子医療センター指定
13年 3月	MRI室整備
10月	ヘリポート油庫設置
12月	在宅介護支援センター(別棟)新築
14年 3月	救急治療室増改築 結核患者収容個室整備
15年 9月	救急外来大屋根整備
12月	駐車場ゲート運用開始
16年 2月	入院電子カルテ運用開始
4月	外来電子カルテ運用開始
7月	地域医療支援病院承認
17年 1月	日本医療機能評価機構 認定病院更新
4月	臨床研修棟整備
18年 2月	助産師外来開始
7月	PET-CT整備
10月	新型救命救急センター指定
19年 1月	地域がん診療連携拠点病院指定
3月	高松分院閉院
4月	高松診療所開設
20年 4月	院内保育所開設
21年 4月	DPC対象病院
22年 1月	日本医療機能評価機構V6.0認定更新
22年 5月	飯田市立病院介護老人保健施設・高松診療所 新施設完成
22年 6月	医療コンサルジュ配置
23年 5月	電子カルテシステム更新 自動支払機導入
25年 3月	南棟増築竣工
4月	新救命救急センター稼動

4. 飯田市立病院各種委員会等組織図 (全58委員会・会議)

☆は、法令・施設基準等に規定のあるもの



5. 飯田市立病院の施設の特徴

- 飯伊医療圏の中核病院として、高度な医療を提供するため、最新型の医療機器を導入し、設備を充実させています。
- 段丘上の恵まれた自然環境の中に立地しています。明るく清潔な院内と、患者さんが希望をもって治療に専念できるような待合室、病室、デイルームなど施設全体に工夫がなされています。
- 病院施設は安全性が肝心です。施設全体に安全施設や防災対策が施され、院内の感染防止対策も考慮されています。

放射線治療機器	手術関連機器
放射線治療システム	無影灯
リニアック	手術台
ラルストロン	トランスムーバー
ストロンチウム89シリンジ分注装置	電気メス
放射線診断機器	麻酔器
PET-CT	腹腔鏡手術機器
R I	鼻腔鏡手術機器
MRI	鼻副鼻腔・咽頭喉頭手術システム
X線CT	開頭ドリル機器
X線TV	外科手術用ラジオ波焼灼器
多目的X線TV撮影装置	脳外科手術顕微鏡
循環器系X線診断装置	前眼部光干渉断層計
血管造影X線診断装置	形成外科手術顕微鏡
骨密度測定装置	人工心臓装置
腹部エコー	大動脈バルーンポンプ
結石破砕装置	人工関節手術機器
マンモグラフィ	レーザー手術機器
乳腺バイオプシー	超音波手術機器
一般X線撮影装置	超音波白内障手術機器
CR	眼科手術レーザー治療機器
放射線画像ファイリングシステム(PACS)	硝子体手術システム機器
放射線情報システム(RIS)	手術室用エコー
循環器X線診断システム	小線源治療用X線透視装置
臨床検査用機器	除細動器
生化学自動分析システム	高圧蒸気滅菌装置
血算装置	プラズマ滅菌装置
血液凝固分析装置	ジェットウォッシャー
血液培養装置	超音波洗浄装置
輸血検査システム	光学式手術ナビゲーションシステム
検体搬送システム	術中ビデオ記録システム
電気化学免疫測定装置	腎センター関連機器
病理検査システム	RO水処理装置
臓器標本撮影装置	ダイアライザー
電子顕微鏡	個人用多用途透析装置
肺機能測定装置	病棟用ME関連機器
運動負荷試験システム	輸液ポンプ
脳波計	シリンジポンプ
筋電図・誘発電位検査装置	下肢加圧装置
心電図システム	低圧持続吸引器
心臓エコー	パルスキオシメーター
血液ガス電解質分解装置	その他医療機器
薬剤関連機器	外科穿刺エコー
散剤調剤監視システム	産婦人科エコー
錠剤分包器	3D/4D 産婦人科超音波画像診断装置
散剤分包器	皮膚灌流圧測定装置
薬品画像監査システム	分娩監視装置
注射薬品ロット管理システム	分娩台
リハビリ用機器	保育器・インファントウォーマー
牽引装置	新生児生体情報モニタ機器
低周波治療器	新生児・小児科人口呼吸器
干渉波治療器	鼻マスク式・新生児・小児科人口呼吸器
超音波骨折治療器	網膜断層診断装置
内視鏡関連機器	眼軸長測定装置
内視鏡ビデオシステム	高気圧酸素治療装置
カプセル内視鏡システム	リフト式特殊浴槽
超音波内視鏡システム	歯科治療ユニット
上部消化管汎用ビデオスコープ	持続グルコース測定モニタ
下部内視鏡ビデオスコープ	高規格救急車(ドクターカー)
十二指腸内視鏡ビデオスコープ	高規格救急車搭載医療機器(超音波診断装置 他)
小腸内視鏡ビデオスコープ	院内情報システム・システム機器
気管支ビデオスコープ	電子カルテシステム
高周波手術装置	医事会計システム
ICU関連機器	DPC経営分析システム
患者監視モニタリングシステム	診療費自動支払機
ICUベッド	POSレジスター
熱傷用ベット	院内情報発信システム
人工呼吸器	地域医療連携システムID-LINK
手術関連機器	看護勤務シフト作成支援システム
患者監視モニタリングシステム	栄養管理システム

## 6. 職員に関する事項

### (1) 職種別職員の状況

H25.4.1現在

職 種	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
医 師	93(15)	98 (15)	95(12)	99 (11)	99 (13)
薬 剤 師	18	20	20	22	22
診療放射線技師	18	19	20	21	22
臨床検査技師	25	26	26	26	28
理学療法士	15	17	19	20	22
作業療法士	6	7	7	7	8
視能訓練士	2	2	3	5	5
言語聴覚士	4	5	5	5	6
歯科衛生士	4	4	5	5	5
臨床心理士		1	1	2	2
栄養士	7	7	8	8	9
調理員	28	29	29	29	30
保健師	1	1	1	1	1
助産師	19	35	35	42	45
看護師	322	332	351	368	369
准看護師	31	32	28	30	27
臨床工学技士	6	8	8	8	9
看護助手	40	42	51	56	60
救急救命士					1
社会福祉士	1	2	5	7	7
事務	80	90	110	110	112
その他	5	5	4	5	5
合 計	725	782	831	878	894

( )は初期研修医内数

## 7. 平成23年度飯田市立病院事業報告

### (1) 概況

#### 1) 総括事項

平成23年度の決算は、純利益が3億9千4百万円となり、平成21年度以降3年連続の黒字決算となりました。

平成23年度の延べ患者数は、入院が2.2%減の122,445人、外来が0.9%減の237,777人でした。入院の延べ患者数は減少しましたが、新たに入院した実患者数は平成23年度が10,165人(平成22年度は9,712人)で、前年度に比較して453人増(4.7%増)となっています。平均在院日数は12.0日(平成22年度は12.9日)で前年度に比較して短縮されています。

診療単価については入院が3.0%、外来が3.8%増加したため、入院収益は約76億1千万円、外来収益は約26億4千万円、合計約102億5千万円となり、前年度より約1億3千万円増加しました。救急患者や症状の重い患者を積極的に受入れ、高度な手術を数多く手がけたことなどが新規の患者数や診療単価の増に結びつき、医業収益の増加につながったものと考えます。

医業費用は約2億円増加しました。第3次整備事業を見据え、診療体制を充実するため医師、看護師、診療技術職員等を増員したことが大きな要因となっています。

医業外費用はほぼ前年度並みの5億7千7百万円でした。

一般会計繰入金については、地方交付税の繰出基準に対し繰入額を減額しています。

これらの結果、経常利益、純利益ともに3億9千4百万円となり、飯田市立病院改革プランの収支計画を上回ることができました。

第3次整備事業は平成23年度に着工し、現在工事が進んでいます。継続費を設定しており、平成23年度予算を翌年度に繰越して事業を行っています。平成24年度末に南棟、平成25年度末に北棟が完成する予定です。

初期臨床研修医については12名を受け入れました。また、各医療機関で初期臨床研修を終了し、さらに専門領域を深めるための後期臨床研修として医師11名が当院に勤務しました。

医師の確保については、全国的に厳しい状況であり、いくつかの診療科については医師不足が続いています。今後とも医師事務作業補助者の活用など医師の負担軽減を図るとともに、医師確保に努めたいと考えます。

特に産科医の確保は、引き続き難しい状況です。当院では5名の産科医が勤務していますが、地域内の診療所が分娩の受入れを中止した影響もあり、平成23年度は約1,200件の分娩を受け入れました。これは、県内で最も分娩数の多い病院となっています。現在、医師や助産師が協力して里帰り出産もお断りすることなく受け入れています。決して余裕のある状況ではありません。第3次整備による施設の改善と、医師確保が課題となっています。

当院は地域医療支援病院として地域内の病院や診療所との連携を進めていますが、診療報酬の改定においても、地域内の連携、医療と介護の連携が重点として扱われています。



当地域内の医療連携については、がんや脳卒中などの地域連携パスの導入が進んでいます。地域連携パスは、当院で手術を行った患者さんが近くのかかりつけ医(診療所等)に定期的に通って検査等を行い、変化があった場合に診療所から当院が紹介を受けるほか、年数回は当院で専門的な診断をうけるためのパス(診療計画書)です。

これらの仕組みを補完する情報システムである「飯田下伊那診療情報連携システム[ism-Link]」も本格的な運用が始まりました。これは、患者さんの同意のもと、当院をはじめ圏域内の主だった病院の診療情報を、他の病院や診療所で確認できるシステムです。

これらの普及により、地域内の病院や診療所との連携を更に進めていきたいと考えています。

この他、当院の診療機能をより高めるための医療機器や情報管理システムの更新などについても、計画的に順次充実を図っています。

医療安全対策や患者サービスの向上、接遇の改善などについては、各委員会を中心に積極的に取り組んでいます。ご意見カードで寄せられた要望・意見や患者満足度調査などの客観的な指標により検証しながら、よりよいサービスの向上を推進しています。また、患者さんの個人情報についても、適切に保護し管理することを進めています。

介護老人保健施設と高松診療所については、平成23年度中に玄関や敷地内の工事が全て完了し、隣接する公園は地域の皆様に早速ご利用いただいています。平成24年2月より入所定員数を60床から70床にしましたが、引き続き100床に向けて体制を整えていきます。

## 2) 施設 の 状 況

(ア) 本年度取得した施設等の概要は次のとおりです。 (金額は消費税抜)

a 建物及び 附属設備は	北側駐車場 他	156, 173, 810 円
b 医療器械器具及び備品は	マルチスライスCT 他	578, 800, 350 円
c 一般器具及び備品は	医用画像表示用カラーディスプレイ 他	28, 338, 380 円
d 車両及び運搬具は	軽自動車	990, 561 円

(イ) 本年度除却した施設等の概要は次のとおりです。 (金額は消費税抜)

a 建物及び 附属設備は	発電設備 他	163, 548, 507 円
b 医療器械器具及び備品は	全身用X線コンピュータ断層撮影装置 他	416, 111, 586 円
c 一般器具及び備品は	業務用ノートパソコン 他	19, 497, 307 円
d 車両及び運搬具は	乗用自動車 他	743, 333 円

### 3) 患者の状況

入院患者数は、延べ122,445人(前年度対比97.8%)、一日平均334.5人、病床利用率83.0%(決算統計上89.1%)、前年度に比較して、延べで2,702人、一日平均8.4人、利用率では2.1ポイント減少しました。また、平均在院日数は12.0日でした。

高松診療所を含む外来患者数は、延べ237,777人(前年度対比99.1%)、一日平均974.9人で、前年度に比較して、延べで2,126人、一日平均12.6人の減少となりました。

### 4) 経理の状況

#### (ア) 収益的収入(損益計算書)

入院収益は7,607,979,398円、外来収益が2,643,332,793円で、前年度に比較し、入院では60,736,933円(0.8%)の増加、外来では73,707,203円(2.9%)の増加となりました。患者1人1日当たりの診療収入は、入院62,134円、外来11,117円(高松診療所を含む)となり、前年度に比較し入院では1,827円(3.0%)、外来では406円(3.8%)増加しました。

病院事業収益全体では前年度に比較し、140,396,731円(1.2%)増加の11,687,549,956円となりました。

#### (イ) 収益的支出(損益計算書)

病院事業費用は前年度に比較し給与費は231,387,520円(4.0%)増加(退職給与引当金108,000,000円を含む)、材料費は72,420,666円(3.0%)増加、経費は88,685,700円(6.4%)減少、企業債利息は11,966,050円(7.7%)減少、減価償却費は31,900,471円(4.3%)増加、繰延勘定償却は9,328,559円(4.4%)増加しました。

病院事業費用全体では前年度に比較し、132,511,097円(1.2%)減少の11,293,158,668円となりました。

この結果、経常損益で394,391,288円の利益となりました。

#### (ウ) 資本的収入

企業債は807,900,000円、企業債償還元金を繰入項目とする他会計負担金は446,182,000円、国県補助金は89,731,000円、資本的収入総額は1,343,813,000円でした。

#### (エ) 資本的支出

医療機器等整備事業及び施設整備事業等の建設改良費は881,821,916円、企業債償還元金は1,095,239,681円、開発費は39,495,750円で、資本的支出総額は2,016,557,347円でした。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額672,744,347円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,266,540円及び過年度分損益勘定留保資金671,477,807円で補てんしました。

(2) 患者の年度別状況

区分	年度	病床数	診療日数	患者延数	一日平均患者数
入院	19	403	366	123,188	336.6
	20	403	365	116,541	319.3
	21	403	365	124,452	341.0
	22	403	365	125,147	342.9
	23	403	366	122,445	334.5
外来	19		245	240,436	981.4
			212 (高松)	6,891 (高松)	32.5 (高松)
	20		244	216,859	888.8
			238 (高松)	7,007 (高松)	29.4 (高松)
	21		242	222,723	920.3
			238 (高松)	6,918 (高松)	29.1 (高松)
	22		243	233,105	959.3
			241 (高松)	6,798 (高松)	28.2 (高松)
	23		244	230,848	946.1
			241 (高松)	6,929 (高松)	28.8 (高松)

(3) 平成23年度企業債及び一時借入金の状況

ア 企業債の概況

区分	前年度末残高	本年度借入高	本年度償還高	本年度末残高	備考
企業債	円 9,533,198,416	円 807,900,000	円 1,095,239,681	円 9,245,858,735	財政融資資金 八十二銀行 飯田信用金庫 みなみ信州農業協同組合 簡易生命保険 地方公共団体金融機構 長野銀行 長野県労働金庫

イ 一時借入金の状況

該当なし

(4)平成23年度飯田市病院事業決算報告書  
収益的収入及び支出

【収入】

区分	予 算		額		決算額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条 第3項の規定による支 出額に係る財源充当額	合 計			
第1款 病院事業収益	11,623,000,000	54,500,000	0	11,677,500,000	11,705,208,683	27,708,683	(うち仮払消費税 16,438,280 円)
第1項 医 業 収 益	10,791,000,000	40,000,000	0	10,831,000,000	10,963,811,918	132,811,918	(うち仮払消費税 1,220,511 円)
第2項 医 業 外 収 益	832,000,000	14,500,000	0	846,500,000	741,396,765	△ 105,103,235	

支 出

区分	予 算		額		決算額	不用額	備 考
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法 第24条第3項の規 定による支出 額	小 計			
第1款 病院事業費用	11,587,000,000	39,625,000	0	11,626,625,000	11,255,660,521	370,964,479	
第1項 医 業 費 用	11,158,400,000	40,000,000	0	11,198,400,000	10,848,004,341	350,395,659	(うち仮払消費税 131,809,255 円)
第2項 医業外費用	428,600,000	△ 375,000	0	428,225,000	407,656,180	20,568,820	1,313,436 円)

資本的収入及び支出

【収入】

区分	予 算		額		決算額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第26 条の規定による繰越 額に係る財源充当額	合 計			
第1款 資本的収入	2,331,862,000	△ 30,000,000	0	2,301,862,000	1,343,813,000	△ 1,163,149,000	
第1項 企 業 債	1,327,800,000	30,000,000	0	1,357,800,000	807,900,000	△ 755,000,000	
第2項 負 担 金	374,062,000	0	0	374,062,000	446,182,000	72,120,000	
第3項 果 補 助 金	200,000,000	△ 117,600,000	0	82,400,000	86,731,000	4,331,000	
第4項 出 資 金	430,000,000	38,400,000	0	468,400,000	0	△ 468,400,000	
第5項 国 庫 補 助 金	0	19,200,000	0	19,200,000	3,000,000	△ 16,200,000	

支 出

区分	予 算		額		決算額	繰越額	不用額	備 考
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法 第26条の規定に よる繰越額	小 計				
第1款 資本的支出	3,061,373,000	△ 112,233,000	0	2,949,140,000	2,016,557,347	57,600,000	82,323,653	(うち仮払消費税 41,878,815 円)
第1項 建設改良費	1,934,900,000	△ 112,400,000	0	1,822,500,000	881,821,916	57,600,000	60,629,084	
第2項 企業償還金	1,095,073,000	167,000	0	1,095,240,000	1,095,239,681	0	319	(うち仮払消費税 1,880,750 円)
第3項 開 発 費	31,400,000	0	0	31,400,000	39,495,750	0	21,694,250	
繰越額								
合計								
合計								

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 672,744,347円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支 調整額 1,266,540円及び過年度分損益勘定留保資金 671,477,807円で補てんした。

## (5) 飯田市病院事業損益計算書

(単位:円)

	21年度	22年度	23年度
1 医業収益	10,011,437,154	10,776,277,479	10,947,373,638
(1) 入院収益	6,968,828,868	7,547,242,465	7,607,979,398
(2) 外来収益	2,385,914,992	2,569,625,563	2,643,332,793
(3) その他の医業収益	656,693,294	659,409,451	696,061,447
2 医業費用	9,773,239,479	10,471,101,242	10,716,195,086
(1) 給与費	5,449,053,175	5,853,440,634	6,084,828,154
(2) 材料費	2,306,842,751	2,405,627,336	2,478,048,002
(3) 経費	1,271,714,432	1,394,287,945	1,305,602,245
(4) 減価償却費	690,804,654	738,376,887	770,277,358
(5) 資産減耗費	20,487,944	34,995,009	32,189,208
(6) 研究研修費	34,336,523	44,373,431	45,250,119
医業損益	238,197,675	305,176,237	231,178,552
3 医業外収益	847,851,928	770,875,746	740,176,318
(1) 受取利息配当金	5,568,591	5,768,429	3,328,026
(2) 他会計負担金	578,764,000	440,814,000	370,552,000
(3) 財産収入	7,644,465	7,594,940	7,644,585
(4) 他会計補助金	168,390,000	198,627,000	245,582,000
(5) 国庫補助金	25,764,000	25,127,750	21,368,000
(6) 県補助金	23,618,000	35,661,000	43,826,000
(7) その他の医業外収益	38,102,872	57,282,627	47,875,707
4 医業外費用	750,765,241	569,995,877	576,963,582
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	331,566,457	155,819,653	143,853,603
(2) 繰延勘定償却	225,291,960	210,615,733	219,944,292
(3) 患者外給食材料費	1,132,514	1,275,916	190,710
(4) 院内保育所費	19,752,154	20,599,603	26,206,789
(5) 雑損失	173,022,156	181,684,972	186,768,188
3 - 4	97,086,687	200,879,869	163,212,736
経常損益	335,284,362	506,056,106	394,391,288
5 特別利益	0	0	0
(1) 固定資産売却益	0	0	0
(2) 過年度損益修正益	0	0	0
(3) その他の特別利益	0	0	0
6 特別損失	0	119,550,452	0
(1) 固定資産売却損	0	0	0
(2) 過年度損益修正損	0	0	0
(3) 高松分院固定資産等除却損	0	119,550,452	0
5 - 6	0	△ 119,550,452	0
当年度純損益	335,284,362	386,505,654	394,391,288
前年度繰越欠損金	2,198,596,594	1,863,312,232	1,476,806,578
当年度未処理欠損金	1,863,312,232	1,476,806,578	1,082,415,290

## (6) 飯田市病院事業剰余金計算書

(単位:円)

	21年度	22年度	23年度
[利益剰余金の部]			
1 減債積立金			
1 前年度末残高	0	0	0
2 前年度繰入額	0	0	0
3 当年度処分額	0	0	0
4 当年度残高	0	0	0
積立金合計	0	0	0
2 欠損金			
1 前年度未処理欠損金 前年度未処分利益剰余	2,198,596,594	1,863,312,232	1,476,806,578
2 前年度欠損金処理額 前年度利益剰余金処分	0	0	0
繰越欠損金年度末残高 繰越利益剰余金年度末残	2,198,596,594	1,863,312,232	1,476,806,578
3 当年度純損益	335,284,362	386,505,654	394,391,288
当年度未処理欠損金	1,863,312,232	1,476,806,578	1,082,415,290
[資本剰余金の部]			
1 受贈財産評価額			
1 前年度末残高	33,536,550	33,536,550	33,536,550
2 前年度処分額	0	0	0
3 当年度発生額	0	0	0
4 当年度処分額	0	0	0
5 当年度末残高	33,536,550	33,536,550	33,536,550
2 寄附金			
1 前年度末残高	26,357,718	26,357,718	27,357,718
2 前年度処分額	0	0	0
3 当年度発生額	0	1,000,000	0
4 当年度処分額	0	0	0
5 当年度末残高	26,357,718	27,357,718	27,357,718
3 補助金			
1 前年度末残高	950,749,300	913,784,300	922,196,300
2 前年度処分額	0	0	0
3 当年度発生額	13,035,000	8,412,000	89,731,000
4 当年度処分額	50,000,000	0	0
5 当年度末残高	913,784,300	922,196,300	1,011,927,300
4 その他資本剰余金			
1 前年度末残高	4,811,464,963	5,268,895,963	5,643,838,963
2 前年度処分額	0	0	0
3 当年度発生額	457,431,000	374,943,000	446,182,000
4 当年度処分額	0	0	0
5 当年度末残高	5,268,895,963	5,643,838,963	6,090,020,963
翌年繰越資本剰余金	6,242,574,531	6,626,929,531	7,162,842,531

## (7) 飯田市病院事業貸借対照表

(単位:円)

	21年度	22年度	23年度
[ 資 産 の 部 ]	18,431,458,342	19,215,224,893	20,244,335,049
1 固定資産	13,799,970,545	13,544,483,638	13,584,054,341
(1) 有形固定資産	13,797,462,008	13,542,727,554	13,582,298,257
イ 土 地	4,444,360,029	4,475,650,007	4,475,650,007
ロ 建物及び附属設備	7,606,913,098	7,241,126,806	7,044,284,910
ハ 構 築 物	93,440,663	82,286,203	69,241,529
ニ 医療機械器具及び備品	1,578,841,607	1,619,218,857	1,786,692,339
ホ 一般器具及び備品	64,970,958	93,790,404	100,814,853
ヘ 車 輛 及 び 運 搬 具	8,935,653	10,405,277	9,824,619
ト 建 設 仮 勘 定	0	20,250,000	95,790,000
(2) 無形固定資産	2,508,537	1,756,084	1,756,084
イ 電 話 加 入 権	1,934,444	1,756,084	1,756,084
ロ 地 上 権	574,093	0	0
(3) 投 資	0	0	0
イ 長 期 貸 付 金	0	0	0
ロ そ の 他 投 資	0	0	0
2 流動資産	3,969,187,656	4,953,124,368	6,082,400,088
(1) 現 金 預 金	2,201,480,162	3,057,001,388	4,050,837,247
(2) 未 収 金	1,733,883,439	1,858,425,068	1,997,901,558
(3) 貯 蔵 品	33,824,055	37,697,912	33,661,283
(4) 貸 付 金	0	0	0
(5) そ の 他 流 動 資 産	0	0	0
3 繰延勘定	662,300,141	717,616,887	577,880,620
(1) 開 発 費	102,783,844	298,412,918	261,532,992
(2) 退 職 給 与 金	332,576,212	195,816,818	95,715,880
(3) 控除対象外消費税	226,940,085	223,387,151	220,631,748

	21年度	22年度	23年度
[ 負債の部 ]	891,100,248	1,225,259,041	1,611,404,590
4 固定負債	274,000,000	572,000,000	680,000,000
(1) 引当金	274,000,000	572,000,000	680,000,000
イ修繕費引当金	37,000,000	137,000,000	137,000,000
ロ退職給与引当金	237,000,000	435,000,000	543,000,000
5 流動負債	617,100,248	653,259,041	931,404,590
(1) 未払金	600,606,015	636,096,558	927,955,877
(2) 一時借入金	0	0	0
(3) その他流動負債	16,494,233	17,162,483	3,448,713
[ 資本の部 ]	17,540,358,094	17,989,965,852	18,632,930,459
6 資本金	13,161,095,795	12,839,842,899	12,552,503,218
(1) 自己資本金	1,688,424,483	1,703,424,483	1,703,424,483
(2) 借入資本金	11,472,671,312	11,136,418,416	10,849,078,735
イ他会計借入金	1,603,220,000	1,603,220,000	1,603,220,000
ロ企業債	9,869,451,312	9,533,198,416	9,245,858,735
ハ特定資金公共投資事業債	0	0	0
7 剰余金	4,379,262,299	5,150,122,953	6,080,427,241
(1) 資本剰余金	6,242,574,531	6,626,929,531	7,162,842,531
イ受贈財産評価額	33,536,550	33,536,550	33,536,550
ロ寄附金	26,357,718	27,357,718	27,357,718
ハ補助金	913,784,300	922,196,300	1,011,927,300
ニその他資本剰余金	5,268,895,963	5,643,838,963	6,090,020,963
(2) 欠損金	1,863,312,232	1,476,806,578	1,082,415,290
イ当年度未処理欠損金	1,863,312,232	1,476,806,578	1,082,415,290
負債・資本合計	18,431,458,342	19,215,224,893	20,244,335,049



## (8) 経営分析に関する調

( )は前年度数値

団体名	飯 田 市		病院名	飯 田 市 立 病 院		
項 目			算 出 基 礎		数値・単位	増減率
1病床利用率	(1)一 般	年延一般入院患者数 ( 132,691 ) ×100		( 91.7 )		
		年延一般病床数 ( 147,498 )		90.0 %		-1.9
	(2)結 核	年延結核入院患者数 ( ) ×100		( )		
		年延結核病床数 ( )		%		
(3)伝 染	年延伝染入院患者数 ( 0 ) ×100		( 0.0 )			
	年延伝染病床数 ( 1,464 )		0.0 %			
(4)計	年延入院患者数 ( 132,691 ) ×100		( 90.8 )			
	年延総病床数 ( 148,962 )		89.1 %		-1.9	
2	(1)一日平均患者数	ア 入 院	年延入院患者数 ( 132,691 )	( 369.5 )		
			366 ( 366 )	362.5 人		-1.9
患	(2)外来入院患者比率	イ 外 来	年延外来患者数 ( 237,777 )	( 987.3 )		
			診療日数 ( 244 )	974.5 人		-1.3
者	(3)職員一人	ア 医 師	年延外来患者数 ( 237,777 ) ×100	( 177.9 )		
			年延入院患者数 ( 132,691 )	179.2 %		0.7
数	一日当り患者数	入院	年延入院患者数 A ( 132,691 )	( 3.9 )		
			年延医者数 D ( 33,456 )	4.0 人		2.6
入	(2)職員一人	イ 看 護 部 門 職 員	年延外来患者数 B ( 237,777 )	( 7.0 )		
			D ( 33,456 )	7.1 人		1.4
入	診 療 収 入	外 来	A ( 132,691 )	( 0.9 )		
			年延看護部門職員数E ( 150,071 )	0.9 人		0.0
3	(1)患者一人	ア 入 院	入院収益 ( 7,607,979 )	( 55,965 )		
			A ( 132,691 )	57,336 円		2.4
収	うちX線収入	うちX線収入	投薬注射収入 ( 604,067 )	( 4,438 )		
			A ( 132,691 )	4,552 円		2.6
入	一日当り	イ 外 来	検査収入 ( 333,448 )	( 2,526 )		
			A ( 132,691 )	2,513 円		-0.5
入	診 療 収 入	外 来	X線収入 ( 178,088 )	( 1,526 )		
			A ( 132,691 )	1,342 円		-12.1
入	診 療 収 入	外 来	外来収益 ( 2,643,333 )	( 10,711 )		
			B ( 237,777 )	11,117 円		3.8
入	診 療 収 入	外 来	投薬注射収入 ( 536,062 )	( 2,005 )		
			B ( 237,777 )	2,254 円		12.4
入	診 療 収 入	外 来	検査収入 ( 650,588 )	( 2,636 )		
			B ( 237,777 )	2,736 円		3.8
入	診 療 収 入	外 来	X線収入 ( 553,313 )	( 2,423 )		
			B ( 237,777 )	2,327 円		-4.0
入	(2)職員一人	ア 医 師	入院外来収益 C ( 10,251,312 )	( 294,352 )		
			D ( 33,456 )	306,412 円		4.1
入	診 療 収 入	イ 看 護 部 門 職 員	C ( 10,251,312 )	( 69,470 )		
			E ( 150,071 )	68,310 円		-1.7

項 目		算 出 基 礎		数値・単位	増減率
	(3)職員一人当り医療収入	医療収入 ( 10,947,374 )	( 18,708,814 )		
		損益勘定所属職員数 ( 602 )	18,185,007 円		-2.8
費	(1)患者一人一日当り薬品費	ア 投 薬	投薬薬品費 ( 174,200 )	( 402 )	
			A + B ( 370,468 )	470 円	16.9
		イ 注 射	注射薬品費 ( 844,313 )	( 2,185 )	
			A + B ( 370,468 )	2,279 円	4.3
		ウ 計	薬 品 費 ( 1,018,513 )	( 2,587 )	
			A + B ( 370,468 )	2,749 円	6.3
	(2)入院患者一人一日当り給食材料費		給食材料費 ( 81,453 )	( 592 )	
			A ( 132,691 )	614 円	3.7
	(3)使用効率	ア 投薬薬品分	薬品収入(投薬分) ( 251,939 ) ×100	( 148.4 )	
			投薬薬品費 ( 174,200 )	144.6 %	-2.6
	イ 注射薬品分	薬品収入(注射分) ( 888,190 ) ×100	( 104.5 )		
		注射薬品費 ( 844,313 )	105.2 %	0.7	
(4)医療材料消費率		医療材料費 ( 2,396,595 ) ×100	( 23.0 )		
		入院外来収益 ( 10,251,312 )	23.4 %	1.7	
5診療収入に 対する割合	(1)投薬注射収入	投薬注射収入 ( 1,140,129 ) ×100	( 10.7 )		
		C ( 10,251,312 )	11.1 %	3.7	
	(2)検査収入	検査収入 ( 984,036 ) ×100	( 9.6 )		
		C ( 10,251,312 )	9.6 %	0.0	
(3)X線収入	X線収入 ( 731,401 ) ×100	( 7.8 )			
	C ( 10,251,312 )	7.1 %	-9.0		
6 医 業 収 対 益 す に る 割 合	(1)医療材料費	薬品費 ( 1,018,513 ) ×100	( 9.0 )		
		ア 薬品費	医療収益 F ( 10,947,374 )	9.3 %	3.3
		イ その他医療材料費	その他医療材料費 ( 1,378,082 ) ×100	( 12.6 )	
		F ( 10,947,374 )	12.6 %	0.0	
	ウ 計	医療材料費 ( 2,396,595 ) ×100	( 21.6 )		
		F ( 10,947,374 )	21.9 %	1.4	
(2)職員給与費		職員給与費 ( 5,787,813 ) ×100	( 51.5 )		
		F ( 10,947,374 )	52.9 %	2.7	
7 検 査 の 状 況	(1)患者100人当り検査件数	年間検査件数 ( 951,792 ) ×100	( 234.4 )		
		年延総患者数 G ( 370,468 )	256.9 件	9.6	
	(2)患者100人当りX線件数	年間X線件数 ( 85,907 ) ×100	( 23.8 )		
		G ( 370,468 )	23.2 件	-2.5	
	(3)検査技師1人当り検査件数	年間検査件数 ( 951,792 )	( 40,104.1 )		
		年度末検査技師数H ( 22.9 )	41,563.0 件	3.6	
(4)検査技師1人当り検査収入	検査収入 ( 984,036 )	( 44,434 )			
	H ( 22.9 )	42,971 千円	-3.3		
(5)放射線技師一人当り検査件数	年間X線件数 ( 85,907 )	( 4,696.6 )			
	年度末放射線技師数I ( 20.0 )	4,295.4 件	-8.5		
(6)放射線技師一人当りX線収入	X線収入 ( 731,401 )	( 41,418 )			
	I ( 20.0 )	36,570 千円	-11.7		
8 室 料	(1)入院収益に対する室料差額収入割合	室料差額収入 ( 8,709 ) ×100	( 0.1 )		
		入院収益 ( 7,607,979 )	0.1 %	0.0	
	(2)経常収益に対する室料差額収入割合	室料差額収入 ( 8,709 ) ×100	( 0.1 )		
		経常収益 ( 11,687,550 )	0.1 %	0.0	

項 目		算 出 基 礎	数値・単位	増減率
差 額	(3) 室料差額対象病床対総病床数の割合	室料差額対象病床数 ( 50 ) × 100	( 12.3 )	
		総病床数 ( 407 )	12.3 %	0.0
9病床100床 当り職員数	(1) 医 師	年度末医師数 ( 91.2 ) × 100	( 22.8 )	
		年度末病床数 J ( 407 )	22.4 人	-1.8
	(2) 看護部門職員	年度末看護職員数 ( 414.7 ) × 100	( 96.8 )	
		J ( 407 )	101.9 人	5.3
	(3) 薬剤部門職員	年度末薬剤職員数 ( 19.0 ) × 100	( 4.4 )	
		J ( 407 )	4.7 人	6.8
	(4) 事務部門職員	年度末事務職員数 ( 105.7 ) × 100	( 22.6 )	
		J ( 407 )	26.0 人	15.0
(5) 給食部門職員	年度末給食職員数 ( 37.0 ) × 100	( 8.9 )		
	J ( 407 )	9.1 人	2.2	
(6) 医療技術員	年度末医療技術員数 ( 42.9 ) × 100	( 10.0 )		
	J ( 407 )	10.5 人	5.0	
(7) その他職員	年度末その他職員数 ( 47.6 ) × 100	( 11.4 )		
	J ( 407 )	11.7 人	2.6	
(8) 全職員	年度末全職員数 ( 758.1 ) × 100	( 176.9 )		
	J ( 407 )	186.3 人	5.3	

## (9) 財務分析に関する調

( )は前年度数値

項 目	算 出 基 礎	比 率	増減率
1固定資産構成比率	固定資産 ( 13,584,054 ) ×100	( 70.5 )	
	固定資産 ( 13,584,054 ) + 流動資産 ( 6,082,400 ) + 繰延勘定 ( 577,881 )	67.1	-4.8
2固定負債構成比率	固定負債 ( 680,000 ) + 借入資本金 ( 10,849,079 ) ×100	( 60.9 )	
	負債資本合計 ( 20,244,335 )	56.9	-6.6
3自己資本構成比率	自己資本金 ( 1,703,424 ) + 剰余金 ( 6,080,427 ) ×100	( 35.7 )	
	負債資本合計 ( 20,244,335 )	38.4	7.6
4固定資産対長期資本比率	固定資産 ( 13,584,054 ) ×100	( 73.0 )	
	資本金 ( 12,552,503 ) + 剰余金 ( 6,080,427 ) + 固定負債 ( 680,000 )	70.3	-3.7
5固定比率	固定資産 ( 13,584,054 ) ×100	( 197.6 )	
	自己資本金 ( 1,703,424 ) + 剰余金 ( 6,080,427 )	174.5	-11.7
6流動比率	流動資産 ( 6,082,400 ) ×100	( 758.2 )	
	流動負債 ( 931,405 )	653.0	-13.9
7酸性試験比率	現金預金 ( 4,050,837 ) + 未収金 ( 1,997,902 ) ×100	( 752.4 )	
	流動負債 ( 931,405 )	649.4	-13.7
8現金比率	現金預金 ( 4,050,837 ) ×100	( 468.0 )	
	流動負債 ( 931,405 )	434.9	-7.1
9減価償却率	当年度減価償却費 ( 770,278 )	( 7.5 )	
	固定資産 ( 13,584,054 ) - 土地・建設仮勘定 ( 4,571,440 ) + 当年度減価償却費 ( 770,278 )	7.9	5.3
10未収金回転率	営業収益 ( 10,947,374 ) - 受託工事収益 ( )	( 6.0 )	
	{期首未収金 ( 1,858,425 ) + 期末未収金 ( 1,997,902 )} × 0.5	5.7	-5.0
11固定資産回転率	営業収益 ( 10,947,374 )	( 0.8 )	
	{期首固定資産 ( 13,544,484 ) + 期末固定資産 ( 13,584,054 )} × 0.5	0.8	0.0
12総収支比率	総収益 ( 11,687,550 ) ×100	( 103.5 )	
	総費用 ( 11,293,159 )	103.5	0.0
13経常収支比率	経常収益 ( 11,687,550 ) ×100	( 104.6 )	
	経常費用 ( 11,293,159 )	103.5	-1.1
14営業収支比率	営業収益 ( 10,947,374 ) - 受託工事収益 ( ) ×100	( 102.9 )	
	営業費用 ( 10,716,195 ) - 受託工事費用 ( )	102.2	-0.7
15利子負担率	支払利息 ( 143,854 ) + 企業債取扱諸費 ( ) ×100	( 1.4 )	
	企業債 ( 9,245,859 ) + 他会計借入金 ( 1,603,220 ) + 一時借入金 ( 0 )	1.3	-7.1
16対減価償却額比率	建設改良のための企業債償還元金 ( 1,095,239 ) ×100	( 146.4 )	
	当年度減価償却費 ( 770,278 )	142.2	-2.9
17料 金	建設改良のための企業債元利償還金 ( 1,239,093 ) ×100	( 12.2 )	
	企業債元利償還金 料金収入 ( 10,251,312 )	12.1	-0.8
18収入 割	企業債利息 ( 143,854 ) ×100	( 1.5 )	
	企業債利息 料金収入 ( 10,251,312 )	1.4	-6.7
19合	建設改良のための企業債償還元金 ( 1,095,239 ) ×100	( 10.7 )	
	企業債償還元金 料金収入 ( 10,251,312 )	10.7	0.0
20	職員給与費 ( 5,787,813 ) ×100	( 54.8 )	
	職員給与費 料金収入 ( 10,251,312 )	56.5	3.1
18職員1人当り営業収益	営業収益 ( 10,947,374 ) 損益勘定所属職員数 ( 602 )	( 18,709 ) 18,185	-2.8
19有形固定資産	職員1人当り 期末有形固定資産 ( 13,582,298 ) 損益勘定所属職員数 ( 602 ) + 資本勘定所属職員数 ( 0 )	( 23,512 ) 22,562	-4.0
20経常利益比率	経常利益 ( 394,391 ) ×100	( 4.7 )	
	営業収益 ( 10,947,374 ) - 受託工事収益 ( )	3.6	-23.4
21累積欠損金比率	累積欠損金 ( 1,476,807 ) ×100	( 13.7 )	
	営業収益 ( 10,947,374 ) - 受託工事収益 ( )	13.5	-1.5
22不良債務比率	流動負債 ( 931,405 ) - {流動資産 ( 6,082,400 ) - 翌年度繰越財源} ×100	( - )	
	営業収益 ( ) - 受託工事収益 ( )	-	-

## ※ 指標の解説

1固定資産構成比率	総資産に対する固定資産の比率で、低い値が良いとされる。事業の安定性の指標。
2固定負債構成比率	総資産に対する固定負債の比率で、低い値が良いとされる。事業の安定性の指標。
3自己資本構成比率	総資本に対する自己資本の比率で、高い値が良いとされる。事業の安定性の指標。
4固定資産対長期資本比率	固定資産が、どの程度、長期資本によって調達されているかを示す比率で、常に100%以下で、かつ、低い値が良いとされる。
5固定比率	自己資本に対する固定資産の比率。固定資産は、1年以上にわたり使用される資産であることから、この調達源泉は、返済期限のない自己資本で賄うのが、安全な財務措置といえる。低い値が良いとされる。
6流動比率	流動負債に対する流動資産の比率。短期的な負債に対する支払いのための資金がどれくらいあるかを見る比率で、高い値ほど運転資金があると判断できる。
7酸性試験比率	流動負債に対する当座資産の比率。流動性を判断する指標で、100%以上であることが望ましい。
8現金比率	流動負債に対する現金、預金の比率。短期的な支払能力を表す。酸性試験比率と似ているが、その中で最も確実な支払手段のみを考慮している。100%以上が望ましい。
9減価償却率	減価償却である固定資産のうち、当年度に減価償却される割合を示す。固定資産に投下された資本の回収状況を判断する指標で、数値が大きいほど投下資本が貨幣性資産として回収され、資本として内部留保されることを示す。
10未収金回転率	未収金が収益によって何回転しているかを示す。未収金の回転状況を判断する指標で、数値が大きいほど未収期間が短く、未収金が早く回収されていることを示す。
11固定資産回転率	固定資産が収益によって何回転しているかを示す。数値が大きいほど施設などの固定資産が有効に稼働していることを示す。
12総収支比率	総費用に対する総収益の比率。損益計算上、総体の収益で総体の費用をまかなうことができるかどうかを示す。100%以上が良いとされる。
13経常収支比率	経常費用に対する経常収益の比率を示す。100%を超える場合は単年度黒字を、100%未満の場合は単年度赤字を示すことになる。
14営業収支比率	営業費用に対する営業収益の割合を示す。数値が100%未満の場合には健全経営とはいえない。
15利子負担率	数値が小さいほど低利の借入金を利用していることになる。
16企業債償還元金対減価償却額比率	減価償却に対する企業債償還元金の割合を示す。内部留保資金である減価償却費で、企業債償還元金が賄われているかどうかをみるものであり、数値が小さいほど資金的に余裕があるということになる。
17料金に対する割合	
企業債元利償還金	料金収入に対する企業債元利償還金の割合を示す。企業債償還元金がどの程度経営の圧迫要因となっているかを示すもので、数値が小さいほどよい。
企業債利息	料金収益に対する企業債利息の割合を示す。企業債利息がどの程度経営の圧迫要因となっているかを示すもので、数値が小さいほどよい。
企業債償還元金	料金収入に対する企業債償還元金の割合を示す。企業債償還元金がどの程度経営の圧迫要因となっているかを示すもので、数値が小さいほどよい。
職員給与費	料金収益に対する職員給与費の割合を示す。職員給与費がどの程度経営の圧迫要因となっているかを示すもので、数値が小さいほどよい。
18職員1人当り営業収益	労働生産性を示す。主たる営業活動として行う財貨・サービスの提供の対価としての収入が、職員一人当たりどれだけの収益を得ているかを示すもので、数値が大きいほどよい。
19職員1人当り有形固定資産	労働生産性を示す。固定資産のうち土地、償却資産、建設仮勘定などの有形固定資産が、職員一人当たりどの程度あるかを示すもので、数値が大きいほどよい。
20経常利益比率	営業収益に対する経常利益の割合を示す。数値が小さいほど、その企業固有の事業の収益性の低さが指摘される。
21累積欠損金比率	営業収益に対する累積欠損金の割合を示す。数値が大きいほど経営が悪化していることを示す。
22不良債務比率	営業収益に対する不良債務の割合を示す。数値が大きいほど経営状況が悪化していることを示す。

## 8. 平成23年度飯田市立病院クリニカルインディケーター

### 1. 病院全体

・ 月次収益報告より集計

#### 1.1 月別 1日平均患者数（入院・外来）

##### 入院

(単位:人)

	21年度		22年度		23年度	
	延入院患者数	1日平均	延入院患者数	1日平均	延入院患者数	1日平均
4月	10,334	344.5	10,442	348.1	10,148	338.3
5月	10,074	325.0	10,278	331.5	9,904	319.5
6月	10,196	339.9	10,413	347.1	10,257	341.9
7月	10,508	339.0	10,679	344.5	10,887	351.2
8月	10,801	348.4	10,700	345.2	10,330	333.2
9月	10,176	339.2	10,387	346.2	10,049	335.0
10月	10,510	339.0	10,078	325.1	10,308	332.5
11月	10,264	342.1	10,378	345.9	10,079	336.0
12月	10,422	336.2	10,514	339.2	10,238	330.3
1月	10,453	337.2	10,545	340.2	10,144	327.2
2月	9,963	355.8	9,897	353.5	9,618	331.7
3月	10,761	347.1	10,836	349.5	10,483	338.2
合計	124,462	341.0	125,147	342.9	122,445	334.5

##### 外来

(単位:人)

	21年度		22年度		23年度	
	延入院患者数	1日平均	延入院患者数	1日平均	延入院患者数	1日平均
4月	18,427	877.5	19,390	923.3	19,734	986.7
5月	17,233	957.4	17,635	979.7	19,498	1,026.2
6月	19,597	890.8	20,537	933.5	21,491	976.9
7月	19,956	907.1	20,348	969.0	18,959	948.0
8月	19,107	909.9	20,311	923.2	20,845	906.3
9月	17,948	944.6	19,529	976.5	18,775	938.8
10月	19,450	926.2	19,349	967.5	18,461	923.1
11月	18,092	952.2	18,976	948.8	18,852	942.6
12月	17,841	939.0	18,864	992.8	18,656	981.9
1月	17,698	931.5	18,926	996.1	17,972	945.9
2月	17,374	914.4	18,378	967.3	18,347	873.7
3月	20,000	909.1	20,862	948.3	19,258	917.0
合計	222,723	920.3	233,105	959.3	230,848	946.1

## 1.2 平均在院日数

- ・ 病院の入院治療機能をみるための指標のひとつで、入院してから退院まで期間が平均どのくらいかをみようとするもの。ある期間に何人の患者が入院し、退院していくかをみることによって、1回の入院期間の平均を推定する方法で、以下の計算式から算出した。（厚生労働省の告示に基づく計算方法）

$$\frac{\text{年間の在院患者延日数}}{(\text{年間の新規入院患者数} + \text{年間の退院患者数}) \times 1/2}$$

新規入院、退院患者とは、その対象期間中に新たに入院、退院した患者をいい、入院したその日に退院、あるいは死亡した患者を含む。

(単位：人、日)

	在院患者延日数	新規入院数	退院数	平均在院日数
21年	124,462	9,126	9,129	13.6
22年	125,147	9,712	9,710	12.9
23年	122,445	10,165	10,246	12.0

## 1.3 病床利用率

- ・ 当院の病床が、どの程度効率的に稼働しているかを示す指標。救命救急センターを有する当院の場合は、重篤な患者の緊急入院に備えて、空き病床を確保しておくことも必要である。
- ・ P26の病床利用率は、決算統計上、年間の在院患者延日数に退院患者数を加えてあるので、この数値とは異なる。

$$\frac{\text{年間の在院患者延日数}}{\text{当院の病床数} \times \text{入院診療実日数}}$$

(単位：日、床)

	在院患者延日数	当院病床数(一般病床)	入院診療実日数	病床利用率
21年	124,462	403	365	84.6%
22年	125,147	403	365	85.1%
23年	122,445	403	366	83.0%

## 1.4 年齢別平均患者数（退院患者ベース）

- ・ DPC算定で保険請求した患者の年間総退院患者数を年齢別に分類し、1ヶ月あたりの平均値を算出した。
- ・ 年齢階級は、厚生労働省の統計調査を参考にした。

(単位：人)

		0歳	1～14歳	15～34歳	35～64歳	65～74歳	75歳以上	合計
23年	退院患者	48.6	48.5	67.5	189.3	150.3	250.8	755.0
	構成割合	6.4%	6.4%	8.9%	25.1%	19.9%	33.3%	100.0%

## 1.5 疾病別入院患者統計

- ・EVEによる退院患者統計を用いた。(医科健保使用患者に限定される)
- ・MDC2による18分類とした。
- ・MDC区分の内訳は以下のとおり。  
 01:神経 02:眼科 03:耳鼻 04:呼吸器 05:循環器 06:消化器 07:筋骨格 08:皮膚 09:乳房  
 10:内分泌 11:腎尿路 12:女性 13:血液 14:新生児 15:小児 16:外傷 17:精神 18:その他

MDC2	21年度				22年度				23年度			
	患者数	占有率	死亡患者数	死亡率	患者数	占有率	死亡患者数	死亡率	患者数	占有率	死亡患者数	死亡率
01	422	5.3%	42	10.0%	396	4.6%	38	9.6%	428	4.7%	53	12.4%
02	16	0.2%	0	0.0%	175	2.0%	0	0.0%	311	3.4%	0	0.0%
03	421	5.3%	6	1.4%	416	4.8%	1	0.2%	458	5.0%	6	1.3%
04	825	10.3%	90	10.9%	792	9.2%	81	10.2%	869	9.5%	94	10.8%
05	654	8.2%	27	4.1%	804	9.3%	32	4.0%	823	9.0%	27	3.3%
06	2,067	25.8%	116	5.6%	2,233	25.9%	111	5.0%	2,293	25.0%	124	5.4%
07	339	4.2%	7	2.1%	325	3.8%	5	1.5%	348	3.8%	6	1.7%
08	100	1.2%	0	0.0%	117	1.4%	1	0.9%	130	1.4%	2	1.5%
09	123	1.5%	9	7.3%	95	1.1%	6	6.3%	91	1.0%	3	3.3%
10	143	1.8%	3	2.1%	165	1.9%	4	2.4%	142	1.6%	3	2.1%
11	466	5.8%	18	3.9%	593	6.9%	29	4.9%	525	5.7%	32	6.1%
12	727	9.1%	4	0.6%	795	9.2%	5	0.6%	894	9.8%	4	0.4%
13	180	2.2%	18	10.0%	167	1.9%	23	13.8%	198	2.2%	24	12.1%
14	439	5.5%	0	0.0%	484	5.6%	0	0.0%	548	6.0%	0	0.0%
15	181	2.3%	1	0.6%	158	1.8%	0	0.0%	191	2.1%	0	0.0%
16	735	9.2%	9	1.2%	745	8.6%	8	1.1%	747	8.2%	11	1.5%
17	30	0.4%	0	0.0%	19	0.2%	0	0.0%	14	0.2%	0	0.0%
18	133	1.7%	19	14.3%	146	1.7%	20	13.7%	144	1.6%	14	9.7%
合計	8,001	100.0%	369	4.6%	8,625	100.0%	364	4.2%	9,154	100.0%	403	4.4%

## 1.6 解剖数

- ・病理解剖台帳より集計

年度	21年度	22年度	23年度
件数	3	8	8

## 1.7 ICU入室患者数

- ・ICU患者台帳より集計

(集計期間:1月1日～12月31日)

	21年	22年	23年
入室患者数延べ数	553	572	508



## 2. 診療実績

### 2.1 医療のプロセス・アウトカム

#### 2.1.1 予定救急区分別再入院率

- ・EVEによる退院患者統計を用いた。(医科健保使用患者に限定される)
- ・救急医療入院は初日に救命救急入院料、特定集中治療室入院料及び救急医療管理加算算定患者が対象。  
(平成21年度は予定及び緊急入院で区分されているため緊急入院には軽症患者も含まれる)
- ・予定その他は上記以外の入院患者が対象。

再入院区分		21年度			22年度			23年度		
		予定入院	緊急入院	合計	予定その他入院	救急医療入院	合計	予定その他入院	救急医療入院	合計
		3,821	4,180	8,001	5,120	3,505	8,625	5,511	3,643	9,154
3日以内	件数	17	23	40	27	13	40	29	11	40
	割合	0.4%	0.6%	0.5%	0.5%	0.4%	0.5%	0.5%	0.3%	0.4%
4-7日以内	件数	61	34	95	107	22	129	123	9	132
	割合	1.6%	0.8%	1.2%	2.1%	0.6%	1.5%	2.2%	0.2%	1.4%
8-30日以内	件数	102	155	257	174	117	291	204	69	273
	割合	2.7%	3.7%	3.2%	3.4%	3.3%	3.4%	3.7%	1.9%	3.0%
30-42日以内	件数	126	208	334	201	165	366	274	112	386
	割合	3.3%	5.0%	4.2%	3.9%	4.7%	4.2%	5.0%	3.1%	4.2%

#### 2.1.2 全身麻酔実施症例に対する肺血栓塞栓症予防措置の実施率

- ・EVEによる退院患者統計を用いた。(医科健保使用患者に限定される)
- ・対象:全身麻酔実施かつ肺血栓塞栓症予防管理料算定症例(15歳未満の症例を除く)
- ・実施率の計算式:肺血栓塞栓症予防管理料算定症例÷全身麻酔実施症例
- ・予防措置の実施症例数には診療報酬請求できないもの(上肢に対する手術の一部)は含まれない。

	21年度	22年度	23年度
全身麻酔実施症例件数	1,607	1,655	1,764
血栓塞栓症予防管理料算定症例件数	1,496	1,491	1,645
実施率	93.1%	90.1%	93.3%

## 2.2 がん関係

### 2.2.1 がん手術件数

- ・回覧統計(医事算定実績)を用いた。

#### 23年度

部位	名称	外来件数	入院件数	合計件数	部位別計
肺	肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又はこれに満たない)	0	1	1	42
	肺悪性腫瘍手術(1側肺全摘又は1肺葉を超える)	0	3	3	
	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(リンパ節郭清を伴わない)	0	13	13	
	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(リンパ節郭清を伴う)	0	25	25	
胃	胃切除術(悪性腫瘍手術)	0	39	39	84
	胃全摘術(悪性腫瘍手術)	0	18	18	
	噴門側胃切除術(悪性腫瘍切除術)	0	3	3	
	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術(早期悪性腫瘍粘膜)	0	9	9	
	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術(早期悪性腫瘍粘膜下層)	0	15	15	

部位	名称	外来件数	入院件数	合計件数	部位別計		
肝臓	肝切除術(部分切除)(1歳以上)	0	1	1	12		
	肝切除術(区域切除・亜区域切除)(1歳以上)	0	3	3			
	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(経皮的又は開腹下)	0	7	7			
	肝悪性腫瘍マイクロ波凝固法	0	1	1			
大腸	結腸切除術(全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術)	0	59	59	98		
	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	0	5	5			
	直腸切除・切断術(切除術)	0	8	8			
	直腸切除・切断術(低位前方切除術)	0	18	18			
	直腸切除・切断術(切断術)	0	8	8			
乳房	乳腺悪性腫瘍手術(単純乳房切除術)(乳腺全摘術)	0	1	1	61		
	乳腺悪性腫瘍手術(乳房部分切除術)(腋窩部郭清を伴う)	0	15	15			
	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術)(胸筋切除を併施しない)	0	9	9			
	乳腺悪性腫瘍手術(乳房部分切除術)(腋窩部郭清を伴わない)	0	25	25			
	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術)(腋窩部郭清を伴わない)	0	11	11			
子宮	子宮悪性腫瘍手術	0	13	13	28		
	子宮附属器悪性腫瘍手術(両側)	0	14	14			
	子宮頸部上皮内癌レーザー照射治療	0	1	1			
その他	皮膚悪性腫瘍切除術(単純切除)	0	22	22	282		
	耳介悪性腫瘍手術	0	1	1			
	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(切除)	0	2	2			
	咽頭悪性腫瘍手術	0	2	2			
	喉頭悪性腫瘍手術(全摘)	0	2	2			
	喉頭悪性腫瘍手術(頸部、胸部、腹部等の操作による再建を含む)	0	1	1			
	下咽頭悪性腫瘍手術(頸部、胸部、腹部等の操作による再建を含む)	0	2	2			
	口腔底悪性腫瘍手術	0	2	2			
	舌悪性腫瘍手術(切除)	0	6	6			
	舌悪性腫瘍手術(亜全摘)	0	3	3			
	上顎骨悪性腫瘍手術(切除)	0	2	2			
	下顎骨悪性腫瘍手術(切除)	0	4	4			
	上顎骨悪性腫瘍手術(全摘)	0	2	2			
	顎下腺悪性腫瘍手術	0	2	2			
	甲状腺悪性腫瘍手術(切除)	0	12	12			
	甲状腺悪性腫瘍手術(全摘及び亜全摘)	0	11	11			
	胸壁悪性腫瘍摘出術(その他)	0	1	1			
	食道悪性腫瘍手術(消化管再建手術併施)(頸部、胸部、腹部の操作)	0	6	6			
	食道悪性腫瘍手術(消化管再建手術併施)(胸部、腹部の操作)	0	1	1			
	内視鏡的食道粘膜切除術(早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術)	0	3	3			
	抗悪性腫瘍剤動脈内持続注入用埋込型カテーテル設置(四肢)	0	1	1			
	抗悪性腫瘍剤動脈内持続注入用埋込型カテーテル設置(頭頸部その他)	0	73	73			
	抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用埋込型カテーテル設置(頭頸部その他)	0	12	12			
	抗悪性腫瘍剤腹腔内持続注入用埋込型カテーテル設置	0	2	2			
	後腹膜悪性腫瘍手術	0	2	2			
	胆管悪性腫瘍手術	0	1	1			
	肝門部胆管悪性腫瘍手術(血行再建なし)	0	1	1			
	膝体尾部腫瘍切除術(周辺臓器の合併切除を伴う腫瘍切除術)	0	2	2			
	膝頭部腫瘍切除術(リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術)	0	4	4			
	膝頭部腫瘍切除術(周辺臓器の合併切除を伴う腫瘍切除術)	0	3	3			
	膝頭部腫瘍切除術(血行再建を伴う腫瘍切除術)	0	2	2			
	膝全摘術	0	2	2			
	小腸切除術(悪性腫瘍手術)	0	1	1			
	腎(尿管)悪性腫瘍手術(1歳以上)	0	12	12			
	膀胱悪性腫瘍手術(全摘)(尿路変更を行わない)	0	1	1			
	膀胱悪性腫瘍手術(全摘)(回腸又は結腸導管利用で尿路変更を行う)	0	5	5			
	膀胱悪性腫瘍手術(経尿道的手術)	0	53	53			
	精巣悪性腫瘍手術	0	2	2			
	前立腺悪性腫瘍手術	0	16	16			
		合計	0	481		481	481

## 2.2.2 がんに関する年間診療実績(部位別がん患者数)

・院内がん登録データより抜粋

### 1) 年間入院がん患者数(延べ人数)

(単位:人)

21年	2,064
22年	2,212
23年	2,381

### 2) 5大がん及び上位がん登録数(単位:人)

・がん診療連携拠点病院 院内がん登録 標準登録様式に基づき算出

(集計期間:1月1日～12月31日)

部位	21年			22年			23年		
	件数	男性	女性	件数	男性	女性	件数	男性	女性
胃	110	81	29	108	73	35	108	81	27
大腸	114	69	45	113	69	44	115	70	45
肺	62	48	14	63	36	27	81	55	26
肝	20	14	6	19	14	5	26	17	9
乳	69	0	69	70	0	70	65	0	65
前立腺	69	69	-	84	84	-	119	119	-
頭頸部	37	18	19	56	26	30	56	29	27
子宮	37	-	37	67	-	67	57	-	57
悪性リンパ腫	30	17	13	24	14	10	38	20	18
膀胱	29	21	8	38	34	4	38	35	3
その他	149	78	71	155	84	71	195	104	91
合計	726	415	311	797	434	363	898	530	368

### 3) がんに関する年間診療実績

・がん診療連携拠点病院 院内がん登録 標準登録様式に基づき算出

・膀胱の内視鏡的治療は経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-BT)を登録

#### 22年

(集計期間:平成22年1月1日～平成22年12月31日)

部位	単独治療							併用治療					
	手術			化学療法	放射線療法	その他	計	手術・化学	手術・放射線	化学・放射線	手術・化学・放射線	その他	計
	外科的治療	体腔鏡的治療	内視鏡的治療										
胃	68	0	18	33	3	0	122	23	0	2	0	0	25
大腸	95	1	9	25	3	0	133	21	2	1	1	0	25
肺	4	13	0	27	17	0	61	7	1	9	1	0	18
肝	7	0	0	9	0	9	25	2	0	0	0	2	4
乳	69	1	0	30	47	37	184	30	47	16	16	37	146
頭頸部	40	0	4	8	21	11	84	4	8	8	4	11	35
食道	3	0	2	9	14	0	28	0	0	8	0	0	8
胆のう・胆管	7	0	0	2	2	0	11	1	1	1	0	0	3
膵	5	0	0	14	12	0	31	2	3	10	3	0	18
皮膚	29	0	0	0	1	0	30	0	1	0	0	0	1
子宮・卵巣	65	0	0	13	5	0	83	10	1	3	1	0	15
前立腺	18	0	0	2	41	59	120	1	2	0	0	5	8
膀胱	5	1	28	2	5	5	46	2	1	1	1	1	6
腎・腎盂・尿管	11	0	0	3	3	2	19	1	2	1	0	2	6
悪性リンパ腫	1	1	0	14	6	0	22	1	1	3	0	0	5
白血病	0	0	0	3	1	4	8	0	0	1	0	0	1
脳腫瘍	4	0	0	1	1	0	6	1	1	1	1	0	4
原発不明	0	0	0	3	1	0	4	0	0	1	0	0	1
その他	9	0	0	2	3	0	14	1	2	2	1	0	6
合計	440	17	61	200	186	127	1,031	107	73	68	29	58	335

23年

(集計期間:平成23年1月1日～平成23年12月31日)

部位	単独治療							併用治療					
	手術			化学療法	放射線療法	その他	計	手術・化学	手術・放射線	化学・放射線	手術・化学・放射線	その他	計
	外科的治療	体腔鏡的治療	内視鏡的治療										
胃	60	0	21	36	2	0	119	24	0	1	0	0	25
大腸	93	2	6	35	0	0	136	34	0	0	0	0	34
肺	5	26	0	14	12	0	57	16	0	0	0	0	16
肝	3	0	0	11	3	10	27	0	0	2	0	0	2
乳	50	0	0	25	32	32	139	22	30	18	18	31	119
頭頸部	43	0	0	17	22	15	97	13	14	13	9	15	64
食道	4	0	4	9	12	0	29	2	1	8	1	0	12
胆のう・胆管	11	0	0	5	3	0	19	4	1	2	1	0	8
膵	10	0	0	18	9	0	37	4	0	7	0	0	11
皮膚	28	0	0	1	1	0	30	1	1	0	0	0	2
子宮・卵巣	54	2	0	15	9	1	81	11	3	3	0	1	18
前立腺	15	0	0	1	39	38	93	1	5	0	0	2	8
膀胱	6	0	30	3	3	5	47	2	1	1	0	0	4
腎・腎盂・尿管	6	0	1	2	1	0	10	1	1	1	1	0	4
悪性リンパ腫	4	0	0	21	16	0	41	2	3	5	1	0	11
白血病	0	0	0	4	1	3	8	0	0	0	0	0	0
脳腫瘍	2	0	0	0	1	0	3	0	1	0	0	0	1
原発不明	1	0	0	2	1	0	4	1	1	1	1	0	4
その他	3	0	0	1	5	0	9	0	0	1	0	0	1
合計	398	30	62	220	172	104	986	138	62	63	32	49	344

### 2.2.3 放射線治療件数

・ 回覧統計(医事算定実績)を用いた。

	21年度			22年度			23年度		
	外来件数	入院件数	合計件数	外来件数	入院件数	合計件数	外来件数	入院件数	合計件数
計画作成件数	305	180	485	377	169	546	345	161	506
照射件数	5,143	2,456	7,599	6,390	2,325	8,715	5,590	2,008	7,598

### 2.2.4 化学療法件数

- ・ 外来は回覧統計(外来化学療法加算1)を用いた。
- ・ 入院はEVEによる退院患者統計(様式1化学療法点滴あり)を用いた。(医科健保使用患者に限定される)

(単位:件数)

	21年度	22年度	23年度
外 来	1,594	1,789	1,884
入 院	884	978	1,054
合 計	2,478	2,767	2,938

## 2.3 手術関係

### 2.3.1 年度別手術件数

- ・回覧統計(医事算定実績)を用いた。
- ・区分は医科点数表手術の部の款に従った。
- ・算定実績が歯科のみの手技は医科とは別に歯科算定分と区分した。

#### 23年度

区分	名称	外来	入院	合計
皮膚・皮下組織	創傷処理	530	113	643
	小児創傷処理	52	0	52
	皮膚切開術	114	39	153
	デブリードマン	7	33	40
	皮膚皮下粘膜下血管腫摘出術(露出部)	2	1	3
	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)	140	19	159
	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)	95	12	107
	皮膚悪性腫瘍切除術	0	22	22
	腋臭症手術	3	16	19
	分層植皮術	3	31	34
	全層植皮術	2	26	28
	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術	1	7	8
	動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術	0	4	4
	遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの)	0	5	5
粘膜移植術	0	1	1	
皮膚・皮下組織 区分別合計				1,278
筋骨格系・四肢・体幹	腱鞘切開術(関節鏡下によるものを含む)	18	2	20
	筋肉内異物摘出術	1	2	3
	四肢・躯幹部腫瘍摘出術	3	15	18
	腱離断術(関節鏡下によるものを含む)	0	2	2
	腱縫合術	12	5	17
	アキレス腱断裂手術	3	15	18
	腱移植術(人工腱形成術を含む)	0	1	1
	腱移行術	0	1	1
	骨搔爬術	0	2	2
	骨髄炎手術(骨結核手術を含む)	0	1	1
	骨折非観血的整復術	57	15	72
	骨折経皮的鋼線刺入固定術	10	27	37
	骨折観血の手術	9	304	313
	難治性骨折超音波治療法	4	1	5
	超音波骨折治療法	0	1	1
	骨内異物(挿入物)除去術	12	48	60
	腐骨摘出術	0	1	1
	骨腫瘍切除術	2	0	2
	偽関節手術	0	4	4
	骨移植術(軟骨移植術を含む)	0	163	163
	化膿性又は結核性関節炎搔爬術	0	5	5
	関節脱臼非観血的整復術	52	22	74
	関節脱臼観血的整復術	1	4	5
	関節内異物(挿入物)除去術	0	7	7
	関節鼠摘出手術	0	1	1
	関節鏡下半月板切除術	0	5	5
	関節鏡下半月板縫合術	0	1	1
	関節切除術	0	3	3
	関節内骨折観血の手術	0	33	33
	観血的関節固定術	0	2	2
	関節形成手術	0	1	1
	人工骨頭挿入術	0	65	65
	人工関節置換術	0	56	56
	人工関節再置換術	0	5	5
鋼線等による直達牽引	0	22	22	
四肢切断術	0	10	10	
断端形成術(軟部形成のみ)	5	2	7	
断端形成術(骨形成を要する)	12	8	20	
爪甲除去術	21	2	23	
陥入爪手術	34	8	42	

区分	名称	外来	入院	合計	
筋骨格系・四肢・体幹	手根管開放手術	8	1	9	
	関節鏡下手根管開放手術	5	1	6	
	デュプイトレン拘縮手術	0	1	1	
	多指症手術	0	5	5	
	第一足指外反症矯正手術	0	3	3	
	腸骨窩膿瘍切開術	0	1	1	
	脊椎内異物(挿入物)除去術	0	1	1	
	椎間板摘出術	0	2	2	
	脊椎腫瘍切除術	0	1	1	
	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成手術	0	81	81	
	体外式脊椎固定術	0	9	9	
	筋骨格系・四肢・体幹 区分別合計				1,247
	神経	穿頭脳室ドレナージ術	0	4	4
		減圧開頭術	0	3	3
		脳膿瘍排膿術	0	1	1
頭蓋内血腫除去術(開頭)		0	9	9	
慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術		0	33	33	
頭蓋内腫瘍摘出術		0	3	3	
経鼻の下垂体腫瘍摘出術		0	2	2	
水頭症手術		0	13	13	
髄液シャント抜去術		0	2	2	
脳動脈瘤流入血管クリッピング(開頭)		0	1	1	
脳動脈瘤頸部クリッピング		0	12	12	
脳血管内手術		0	1	1	
髄液漏閉鎖術		0	1	1	
頭蓋骨形成手術		0	1	1	
神経縫合術	3	1	4		
神経剥離術	0	1	1		
神経腫切除術	2	1	3		
レックリングハウゼン病偽神経腫切除術(露出部)	0	1	1		
神経移行術	0	14	14		
神経系・頭蓋 区分別合計				109	
眼	涙嚢切開術	0	2	2	
	涙点プラグ挿入術	23	0	23	
	先天性鼻涙管閉塞開放術	0	5	5	
	瞼縁縫合術(瞼板縫合術を含む)	0	1	1	
	麦粒腫切開術	4	0	4	
	眼瞼膿瘍切開術	1	0	1	
	兔眼矯正術	0	2	2	
	霰粒腫摘出術	4	0	4	
	眼瞼内反症手術	4	6	10	
	眼瞼下垂症手術	3	9	12	
	結膜縫合術	0	1	1	
	結膜結石除去術	4	0	4	
	結膜嚢形成手術	5	3	8	
	翼状片手術(弁の移植を要する)	15	2	17	
	結膜腫瘍摘出術	6	1	7	
	眼窩骨折観血の手術(眼窩ブローアウト骨折手術を含む)	0	1	1	
	眼窩内腫瘍摘出術(表在性)	0	1	1	
	角膜・強膜縫合術	0	4	4	
	顕微鏡下角膜糸術	0	1	1	
	角膜・強膜異物除去術	6	2	8	
	緑内障手術	0	24	24	
	前房、虹彩内異物除去術	0	2	2	
	網膜復位術	0	1	1	
網膜光凝固術	65	15	80		

区分	名称	外来	入院	合計	
眼	硝子体切除術	0	4	4	
	硝子体茎頭微鏡下離断術	0	60	60	
	増殖性硝子体網膜症手術	0	5	5	
	水晶体再建術	3	350	353	
	後発白内障手術	27	1	28	
	硝子体置換術	0	3	3	
眼 区分別合計				676	
耳鼻咽喉	外耳道異物除去術	9	0	9	
	先天性耳瘻管摘出術	5	3	8	
	副耳(介)切除術	1	2	3	
	耳介悪性腫瘍手術	0	1	1	
	耳介形成手術	1	1	2	
	小耳症手術	0	2	2	
	鼓膜切開術	27	4	31	
	乳突削開術	0	3	3	
	鼓膜(排液、換気)チューブ挿入術	14	18	32	
	鼓膜形成手術	0	7	7	
	鼓室形成手術	0	3	3	
	鼻腔粘膜焼灼術	60	5	65	
	鼻骨骨折整復固定術	7	10	17	
	鼻骨骨折徒手整復術	1	0	1	
	鼻内異物摘出術	13	1	14	
	鼻前庭嚢胞摘出術	0	1	1	
	鼻甲介切除術	0	27	27	
	鼻茸摘出術	5	3	8	
	鼻副鼻腔腫瘍摘出術	0	7	7	
	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術	0	2	2	
	鼻中隔矯正術	0	15	15	
	上顎洞根治手術	0	11	11	
	前頭洞根治手術	0	1	1	
	鼻内蝶形洞根治手術	0	2	2	
	上顎洞篩骨洞根治手術	0	14	14	
	前頭洞篩骨洞根治手術	0	1	1	
	篩骨洞蝶形洞根治手術	0	1	1	
	上顎洞篩骨洞蝶形洞根治手術	0	4	4	
	上顎洞篩骨洞前頭洞根治手術	0	12	12	
	汎副鼻腔根治手術	0	19	19	
	咽後膿瘍切開術	0	1	1	
	扁桃周囲膿瘍切開術	0	2	2	
	咽頭異物摘出術	10	1	11	
	アデノイド切除術	0	16	16	
	上咽頭ポリープ摘出術	0	1	1	
	中咽頭腫瘍摘出術	0	1	1	
	下咽頭腫瘍摘出術	0	4	4	
	咽頭悪性腫瘍手術	0	2	2	
	口蓋扁桃手術	0	66	66	
	咽頭瘻閉鎖術	0	1	1	
	気管切開術	0	24	24	
	声帯ポリープ切除術	0	18	18	
	喉頭異物摘出術	3	1	4	
	喉頭蓋嚢腫摘出術	0	1	1	
	喉頭腫瘍摘出術	0	21	21	
	喉頭悪性腫瘍手術	0	2	2	
	<small>喉頭、下咽頭悪性腫瘍手術(頭部、胸部、腹部等の操作による再建を含む)</small>	0	3	3	
	気管切開孔閉鎖術	0	1	1	
	口蓋腫瘍摘出術	3	3	6	
	嚥下機能手術	0	1	1	
	耳鼻咽喉 区分別合計				505
	顔面・口腔・頸部	顎・口蓋裂形成手術	0	9	9
		口腔底悪性腫瘍手術	0	2	2
		舌悪性腫瘍手術	0	9	9
		頬、口唇、舌小帯形成術	8	1	9
		口唇裂形成手術(片側)	0	3	3
頬骨骨折観血的整復術		0	4	4	
顎関節脱臼非観血的整復術		18	2	20	
下顎骨悪性腫瘍手術		0	4	4	

区分	名称	外来	入院	合計
顔面・口腔・頸部	上顎骨悪性腫瘍手術	0	2	2
	がま腫瘍摘出術	0	1	1
	唾石摘出術	4	3	7
	顎下腺腫瘍摘出術	0	2	2
	顎下腺摘出術	0	4	4
	顎下腺悪性腫瘍手術	0	2	2
	耳下腺腫瘍摘出術	0	6	6
	甲状腺部分切除術、甲状腺腫瘍摘出術	0	5	5
	パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	0	2	2
	甲状腺悪性腫瘍手術	0	23	23
	副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術	0	2	2
	頸嚢摘出術	0	1	1
	頸部郭清術	0	6	6
顔面・口腔・頸部 区分別合計				123
胸部	乳腺腫瘍摘出術	10	1	11
	乳管腺葉区域切除術	0	1	1
	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術	9	0	9
	乳房切除術	1	0	1
	乳腺悪性腫瘍手術	0	61	61
	乳房再建術(乳房切除後)	0	1	1
	胸壁悪性腫瘍摘出術	0	1	1
	漏斗胸手術	0	1	1
	試験開胸術	0	2	2
	胸腔内(胸膜内)血腫除去術	0	1	1
	膿胸、胸膜肺切除術	0	1	1
	胸腔鏡下膿胸掻爬術	0	3	3
	縦隔腫瘍、胸腺摘出術	0	3	3
	気管支異物除去術	1	0	1
	胸腔鏡下肺切除術	0	15	15
	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術	0	1	1
	胸腔鏡下肺縫縮術	0	1	1
	肺悪性腫瘍手術	0	4	4
	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術	0	38	38
	肺縫縮術	0	1	1
	食道狭窄拡張術	2	29	31
	食道ステント留置術	0	2	2
	食道腫瘍摘出術	0	1	1
	内視鏡的食道粘膜切除術	0	3	3
	食道悪性腫瘍手術(消化管再建手術併施)	0	7	7
	食道・胃静脈瘤硬化療法(内視鏡)	0	6	6
	内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術	0	11	11
横隔膜縫合術	0	1	1	
後胸骨ヘルニア手術	0	1	1	
食道裂孔ヘルニア手術	0	1	1	
胸部 区分別合計				221
心・脈管	心腫瘍摘出術	0	1	1
	経皮的冠動脈形成術	0	12	12
	経皮的冠動脈ステント留置術	0	134	134
	冠動脈、大動脈バイパス移植術	0	18	18
	<small>冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工心肺不使用)</small>	0	1	1
	弁形成術	0	12	12
	弁置換術	0	45	45
	大動脈瘤切除術	0	42	42
	動脈管開存症手術(動脈管開存閉鎖術(直視下))	0	1	1
	経皮的肺動脈形成術	0	2	2
	心房中隔欠損閉鎖術	0	1	1
	冠動脈静脈瘻閉鎖術	0	1	1
	不整脈手術	0	7	7
	経皮的カテーテル心筋焼灼術	0	10	10
	体外ペースメーカー	0	8	8
	ペースメーカー移植術	0	28	28
	ペースメーカー交換術	0	18	18
	植込型心電図記録計移植術	0	1	1
	両心室ペースメーカー移植術	0	1	1
	埋込型除細動器移植術	0	3	3
埋込型除細動器交換術	0	1	1	

区分	名称	外来	入院	合計
心・脈管	両室ベレーシング機能付き埋込型除細動器移植術	0	3	3
	大動脈バルーンパンピング法 (IABP法)	0	21	21
	人工心肺	0	91	91
	経皮的な心肺補助法	0	12	12
	血管結紮術	1	5	6
	動脈塞栓除去術	0	1	1
	内シヤント血栓除去術	3	4	7
	動脈血栓内膜摘出術	0	1	1
	動脈形成術、吻合術	0	2	2
	内シヤント設置術	2	30	32
	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈又は腹腔内持続注入用埋込型カテーテル設置	0	88	88
	血管移植術、バイパス移植術	0	22	22
	血管塞栓術	0	44	44
	四肢の血管拡張術・血栓除去術	22	17	39
	中心静脈栄養用埋込型カテーテル設置	2	18	20
	下大静脈フィルター留置	0	3	3
	静脈形成術、吻合術	0	1	1
	リンパ節摘出術	10	15	25
	リンパ節群郭清術	0	2	2
心・脈管 区分別合計				767
腹部	腹壁腫瘍摘出術	2	1	3
	ヘルニア手術	0	127	127
	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(両側)	0	1	1
	胸水・腹水濾過濃縮再静注法	2	6	8
	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術	0	35	35
	腹腔・静脈シヤントバルブ設置術	0	4	4
	食道・胃内異物除去摘出術(マグネットカテーテルによるもの)	1	0	1
	内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	5	4	9
	試験開腹術	0	4	4
	限局性腹腔膿瘍手術	0	6	6
	経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	0	1	1
	急性汎発性腹膜炎手術	0	13	13
	大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術	0	1	1
	後腹膜悪性腫瘍手術	0	2	2
	胃縫合術(大網充填術又は被覆術を含む)	0	1	1
	内視鏡的胃、十二指腸ステント留置術	0	3	3
	内視鏡的消化管止血術	1	90	91
	胃局所切除術	0	3	3
	胃切除術	0	40	40
	噴門側胃切除術	0	3	3
	胃全摘術	0	18	18
	胃腸吻合術(ブラウン吻合を含む)	0	3	3
	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術を含む)	0	31	31
	胆嚢摘出術	0	54	54
	腹腔鏡下胆嚢摘出術	0	64	64
	胆管悪性腫瘍手術	0	1	1
	肝門部胆管悪性腫瘍手術	0	1	1
	総胆管胃(腸)吻合術	0	1	1
	胆嚢外瘻造設術	0	5	5
	経皮的胆管ドレナージ術	1	9	10
	内視鏡的胆道結石除去術	0	23	23
	内視鏡的胆道拡張術	0	5	5
	内視鏡的乳頭切開術	0	87	87
	内視鏡的胆道ステント留置術	0	181	181
	経皮的肝膿瘍ドレナージ術	0	1	1
	肝切除術	0	4	4
	肝悪性腫瘍マイクロ波凝固法	0	1	1
	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法	0	7	7
	膵体尾部腫瘍切除術	0	2	2
	膵頭部腫瘍切除術	0	9	9
	膵全摘術	0	2	2
	膵嚢胞外瘻造設術	0	1	1
	脾摘出術	0	12	12
	結腸切除術	0	68	68
	腸切開術	0	1	1
	腸管癒着症手術	0	11	11

区分	名称	外来	入院	合計
腹部	腸重積症整復術	0	7	7
	小腸切除術	0	6	6
	小腸腫瘍、小腸憩室摘出術(メッケル憩室炎手術を含む)	0	1	1
	虫垂切除術	0	61	61
	腹腔鏡下結腸切除術	0	1	1
	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	0	5	5
	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術	0	45	45
	内視鏡的大腸ポリープ切除術	0	95	95
	内視鏡的結腸異物摘出術	0	1	1
	小腸結腸内視鏡的止血術	3	12	15
	人工肛門閉鎖術	0	7	7
	腸吻合術	0	2	2
	腸瘻造設術	1	5	6
	人工肛門造設術	0	21	21
	小腸・結腸狭窄部拡張術(内視鏡)	1	4	5
	直腸異物除去術	0	1	1
	直腸腫瘍摘出術	0	2	2
	直腸切除・切断術	0	34	34
	直腸脱手術	0	1	1
	痔核手術	31	1	32
肛門周囲膿瘍切開術	22	1	23	
痔瘻根治手術	0	1	1	
肛門良性腫瘍、肛門ポリープ切除術	0	2	2	
毛嚢洞手術	1	0	1	
腹部 区分別合計				1,334
尿路系・副腎	腹腔鏡下副腎摘出術	0	2	2
	腎周囲膿瘍切開術	0	1	1
	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	30	0	30
	腎部分切除術	0	1	1
	腎摘出術	0	1	1
	腎(尿管)悪性腫瘍手術	0	12	12
	経皮的腎(腎盂)瘻造設術	1	24	25
	経尿道の尿路結石除去術	0	2	2
	経尿道の尿管ステント留置術	41	40	81
	経尿道の尿管ステント抜去術	13	15	28
	尿管膀胱吻合術	0	1	1
	膀胱内凝血除去術	5	3	8
	膀胱結石摘出術、膀胱異物摘出術	2	6	8
	膀胱壁切除術	0	1	1
	膀胱憩室切除術	0	1	1
	膀胱脱手術	0	3	3
	膀胱悪性腫瘍手術	0	59	59
外尿道口切開術	0	1	1	
尿道結石、異物摘出術	1	0	1	
尿道狭窄内視鏡手術	0	10	10	
尿路系・副腎 区分別合計				276
性器	包茎手術	0	2	2
	精巣摘出術	0	2	2
	精巣悪性腫瘍手術	0	2	2
	陰嚢水腫手術	0	1	1
	前立腺被膜下摘出術	0	4	4
	経尿道の前立腺手術	0	8	8
	前立腺悪性腫瘍手術	0	16	16
	陰壁裂創縫合術(分娩時を除く)	0	1	1
	陰壁腫瘍摘出術	0	2	2
	子宮内膜搔爬術	2	2	4
	子宮脱手術	0	2	2
	子宮頸管ポリープ切除術	34	0	34
	子宮頸部(腔部)切除術	0	36	36
	子宮頸部上皮内癌レーザー照射治療	0	1	1
	子宮息肉様筋腫摘出術(腔式)	0	1	1
	子宮筋腫摘出(核出)術	0	20	20
	子宮鏡下有茎粘膜下筋腫切出術	0	1	1
子宮腔上部切断術	0	1	1	
子宮全摘術	0	29	29	
腹腔鏡下腔式子宮全摘術	0	1	1	

区分	名称	外来	入院	合計
性器	子宮悪性腫瘍手術	0	13	13
	子宮頸管形成手術	0	2	2
	子宮附属器癒着剥離術(両側)	0	1	1
	卵管結紮術(両側)	0	1	1
	卵管口切開術	0	1	1
	子宮附属器腫瘍摘出術(両側)	0	82	82
	卵管全摘除術(両側)	0	1	1
	子宮附属器悪性腫瘍手術(両側)	0	14	14
	骨盤位娩出術	0	3	3
	吸引娩出術	0	77	77
	会陰(陰門)切開及び縫合術(分娩時)	0	40	40
	会陰(陰壁)裂創縫合術(分娩時)	0	87	87
	頸管裂創縫合術(分娩時)	0	26	26
	帝王切開術	0	221	221
	子宮双手圧迫術	0	4	4
	胎盤用手剥離術	0	2	2
	子宮頸管縫縮術	1	0	1
	胎児外回転術	1	0	1
	流産手術	1	9	10
	子宮内容除去術(不全流産)	1	0	1
	胎状奇胎除去術	0	4	4
	子宮外妊娠手術	0	8	8
	新生児仮死蘇生術	0	154	154
	性器 区分別合計			
歯科 算定	拔牙手術(1歯につき)	1,424	174	1,598
	ヘミセクション(分割拔牙)	1	0	1
	拔牙窩再搔爬手術	2	0	2
	歯根嚢胞摘出手術	87	6	93
	歯根端切除手術(1歯につき)	76	23	99
	歯の再植術	13	0	13
	歯の移植手術	16	0	16
	歯槽骨整形手術、骨瘤除去手術	3	1	4

区分	名称	外来	入院	合計
歯科 算定	歯肉、歯槽部腫瘍手術(エプーリスを含む。)	11	1	12
	口腔内消炎手術	41	1	42
	舌腫瘍摘出術	25	0	25
	舌繫痕性短縮矯正術	0	2	2
	口唇腫瘍摘出術	41	2	43
	頬粘膜腫瘍摘出術	4	1	5
	術後性上顎嚢胞摘出術	0	2	2
	上顎洞口腔瘻閉鎖術	5	2	7
	上顎骨悪性腫瘍手術	0	2	2
	下顎骨離断術	0	2	2
	顎骨腫瘍摘出術(歯根嚢胞を除く。)	13	22	35
	顎骨嚢胞開窓術	1	0	1
	口蓋隆起形成術	0	1	1
	下顎隆起形成術	5	0	5
	腐骨除去手術	2	1	3
	口腔外消炎手術	1	5	6
	歯性扁桃腺周囲膿瘍切開手術	0	1	1
	がま腫切開術	6	0	6
	唾石摘出術	2	0	2
	舌下腺腫瘍摘出術	0	1	1
	歯槽骨骨折非観血的整復術	2	0	2
	歯槽骨骨折観血的整復術	1	1	2
	下顎骨折非観血的整復術	1	0	1
	下顎骨折観血的手術	1	10	11
	下顎関節突起骨折観血的手術	0	3	3
	口腔内軟組織異物(人工物)除去術	1	0	1
	顎骨内異物(挿入物を含む。)除去術	4	6	10
	顔面多発骨折観血的手術	0	2	2
	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術	0	1	1
	動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術	0	2	2
	歯科算定 区分別合計			
総計				9,522

## 2. 3. 2麻酔件数

・手術管理システムより集計

麻酔種別	23年度	
	麻酔件数	麻酔科管理件数
局所麻酔	1,917	3
静脈麻酔	18	16
硬膜外麻酔	3	3
硬膜外麻酔＋脊髄クモ膜下麻酔併用	215	215
脊髄クモ膜下麻酔	218	152
伝達麻酔	52	1
球後麻酔	4	0
全身麻酔	1,820	1,820
全身麻酔＋硬膜外麻酔併用	389	389
合計	4,636	2,599



## 2.4 周産期関係

### 2.4.1 年度別分娩件数

- ・助産師外来統計を用いた。
- ・多胎などの場合でも、件数は1件でカウントした。

(単位：件)

	経膈分娩	帝王切開	合計
21年度	803	203	1,006
22年度	841	210	1,051
23年度	977	219	1,196

### 2.4.2 ハイリスク妊娠・分娩件数

- ・回覧統計(医事算定実績)を用いた。
- ・合併症や、多胎妊娠、子宮内胎児発達遅延など、妊娠や分娩時にリスクが高い妊産婦。
- ・地域の産婦人科からの母体救急搬送も多く受け入れている。

(単位：件)

	ハイリスク 妊娠対象者	ハイリスク 分娩対象者	合計
21年	41	54	95
22年	97	81	178
23年	96	85	181

## 2.5 救急関係

### 2.5.1 救急死亡患者統計

- ・EVEによる退院患者統計及び救急患者統計を用いた。
- ・入院期間が2日以内の死亡患者と、外来死亡患者を対象。
- ・平成21年度は緊急入院に軽症も含む。

	21年度			22年度			23年度		
	予定入院	緊急入院	合計	予定その 他入院	救急医療 入院	合計	予定その 他入院	救急医療 入院	合計
全期間	3,821	4,180	8,001	5,120	3,505	8,625	5,511	3,643	9,154
入院3日以上	3,365	3,856	7,221	4,567	3,299	7,866	4,794	3,421	8,215
入院1～2日	456	324	780	553	206	759	717	222	939
入院2日以内死亡	0	7	7	0	10	10	0	8	8
外来死亡		89	89		64	64		79	79

### 2.5.2 PTCA術後24時間以内のCABG実施率

- ・循環器学会への登録データより

	23年
CABG件数	21
PTCA後24時間以内のCABG件数	0
実施率(%)	0

### 2.5.3 tPA急性期血栓溶解実施患者数

・EVEデータにてtPA使用患者を抽出した。(医科健保診療のみを対象)

	23年度
患者数(延べ数)	5

### 2.5.4 時間外救急患者数・年度別ヘリコプター搬送件数

・宿日直管理システムより集計

#### 1)救命救急センター患者数

	21年度	22年度	23年度
外来患者数	13,483	12,957	13,219
入院患者数	3,482	3,332	2,985

#### 2)救急搬送受入数

	21年度	22年度	23年度
救急車	2,888	2,955	3,121
ヘリ	61	46	48

## 2.6 各診療科

### 2.6.1 血管造影室使用患者数

・手術管理システムより集計

使用科等	23年度
循環器内科	548
放射線内科	47
脳神経外科	6
内科	22
透析室	8
合計	631

### 2.6.2 内視鏡検査および治療件数

・内視鏡システム(solemio)より集計

	23年度	
	延べ数	
EGD(GIF)	3,889	
CS(CF)	1,172	
ERCP	15	
EUS	233	
BF	68	
治療内視鏡	上部	254
	下部	166
	膵・胆管	293
	小腸	7
合計	6,097	
緊急内視鏡	393	

## 2.6.3 人工透析件数

- ・回覧統計(医事算定実績)を用いた。
- ・平成22年度より、入院中でもその他以外の人工腎臓が算定可能となった。

名称	21年度			22年度			23年度		
	外来件数	入院件数	合計件数	外来件数	入院件数	合計件数	外来件数	入院件数	合計件数
在宅自己腹膜灌流指導管理料	26	2	28	23	0	23	26	1	27
人工腎臓(4時間未満の場合)	270	0	270	425	366	791	500	416	916
人工腎臓(4時間以上5時間未満)	5,426	0	5,426	5,313	267	5,580	5,399	316	5,715
人工腎臓(5時間以上)	428	0	428	333	21	354	369	12	381
人工腎臓(その他)	0	879	879	90	435	525	174	529	703
持続緩徐式血液濾過術(1日につき)	0	167	167	0	109	109	0	89	89
血漿交換療法(1日につき)	0	12	12	0	0	0	0	0	0
吸着式血液浄化法(1日につき)	0	27	27	0	10	10	0	1	1
エンドトキシン選択除去用吸着式血液浄化法	0	14	14	0	12	12	0	15	15
連続携帯式腹膜灌流(1日につき)	0	31	31	0	0	0	0	7	7
合計	6,150	1,132	7,282	6,184	1,220	7,404	6,468	1,386	7,854

## 2.6.4 薬剤科年度別集計

### 1) 調剤件数

- ・調剤システムより集計

	外来			入院		
	枚数	件数	剤数	枚数	件数	剤数
21年度	16,984 (96,940)	34,209	349,046 (85.7)	38,184	74,405	591,363
22年度	17,274 (101,026)	35,296	337,626 (85.4)	40,030	82,010	653,027
23年度	17,052 (108,147)	35,919	359,515 (86.4)	42,012	86,252	654,414

( )内は院外処方箋発行枚数と発行率

### 2) 治験等取扱い数

- ・治験審査委員会記録より集計

	第Ⅱ相	第Ⅲ相	市販後 試験等
21年度		7	31
22年度	1	5	43
23年度		2	53

### 3) 薬剤管理指導算定数

- ・回覧統計(医事算定実績)を用いた。

	1	2	3	合計
21年度	346	3,450	3,250	7,046
22年度	298	4,138	3,571	8,007
23年度	302	3,902	4,020	8,224

## 2.6.5 放射線科年度別集計(股脱検診含まず)

・RIS(放射線科情報管理システム)より集計

(単位:件数)

	21年度	22年度	23年度
一般	38,935	39,716	39,027
造影	1,761	1,669	1,655
CT	11,870	13,027	12,417
MR	3,646	4,230	4,147
ポータブル	7,830	7,803	8,038
アンギオ	605	681	640
RI	735	911	807
PET-CT	637	586	515
エコー	10,211	10,639	10,464
リニアック	7,864	8,975	7,816
ラルストロン	42	49	29
治療CT	368	388	352
合計	84,504	88,674	85,907

## 2.6.6 臨床検査科年度別集計

・回覧統計(医事算定実績)を用いた。

外来

(単位:件数)

	一般	血液	生化	血清	細菌	病理	生理	外注	総数
21年度	35,594	84,669	140,320	80,463	9,910	4,642	23,773	19,900	399,271
22年度	38,896	94,750	149,224	88,156	9,365	5,773	25,474	21,612	433,250
23年度	37,094	148,395	130,587	71,077	5,342	5,528	19,855	22,845	440,723

入院

(単位:件数)

	一般	血液	生化	血清	細菌	病理	生理	外注	総数
21年度	7,426	64,184	30,429	30,724	8,665	2,672	8,384	5,031	157,515
22年度	7,636	65,538	29,693	33,348	7,813	2,826	8,533	5,475	160,862
23年度	7,258	69,672	74,123	15,581	5,539	2,916	6,162	5,363	186,614

## 2.6.7 リハビリテーション科年度別集計

・単位、算定数関係は回覧統計(医事算定実績)を用いた。  
・患者数、オーダー数関係はリハビリシステムより集計。

### 1)疾患別リハビリ単位数(単位)

区分	疾患区分	単位			人数		
		21年度	22年度	23年度	21年度	22年度	23年度
外来	脳血管疾患リハビリ料(廃用以外)	12,552	13,143	11,559	6,441	6,383	5,429
	脳血管疾患リハビリ料(廃用)	-	262	334	0	152	193
	運動器リハビリ料	11,414	13,498	12,692	7,389	7,507	6,963
	心大血管リハビリ料	259	0	38	147	0	14
	呼吸器リハビリ料	0	18	73	14	12	30
	小計	24,225	26,659	24,696	13,991	14,054	12,629
入院	脳血管疾患リハビリ料(廃用以外)	35,050	27,650	23,398	26,028	17,574	13,246
	脳血管疾患リハビリ料(廃用)	-	13,104	15,036	-	9,370	10,374
	運動器リハビリ料	13,596	12,457	12,933	11,662	9,043	8,291
	心大血管リハビリ料	2,396	3,611	3,480	2,373	2,588	2,638
	呼吸器リハビリ料	700	745	1,081	533	614	629
	がんリハビリ料	0	0	8	0	0	7
小計	51,742	44,463	55,936	40,596	39,189	35,185	
合計	脳血管疾患リハビリ料(廃用以外)	47,602	40,793	34,957	32,469	23,957	18,675
	脳血管疾患リハビリ料(廃用)	-	0	15,370	-	9,522	10,567
	運動器リハビリ料	25,010	25,955	25,625	19,051	16,550	15,254
	心大血管リハビリ料	2,655	3,611	3,518	2,520	2,588	2,652
	呼吸器リハビリ料	700	763	1,154	547	626	659
	がんリハビリ料	0	0	8	0	0	7
総計	75,967	71,122	80,632	54,587	53,243	47,814	

## 2)各種算定数

項目	算定数			実施比率		
	21年度	22年度	23年度	21年度	22年度	23年度
リハビリ総合実施評価計画料	5,690	6,805	6,785	-	92.7%	90.2%
退院時リハビリテーション指導料	723	834	1,142	70.5%	83.7%	75.3%

※ 退院時リハビリテーション指導料は、23年度より転院者も分母としているため、数や比率が異なる。

## 3)入院患者ADL改善度(B. I)

	22年度	23年度
改善度(点)	30.0	30.9

## 4)実患者一人に対する単位数

	外来		入院	
	22年度	23年度	22年度	23年度
単位数	26,659	24,967	44,463	55,936
患者数	8,253	12,575	19,522	27,287
比率(単位)	3.2	1.99	2.3	2.05

## 5)月平均オーダー数

	入院		
	21年度	22年度	23年度
脳血管疾患(廃用以外)	59.3	30.9	39.1
脳血管疾患(廃用)	-	34.0	22.8
運動器疾患	54.4	48.7	56.0
呼吸器疾患	2.9	3.5	3.8
心大血管疾患	13.7	14.2	14.2

## 2.6.8 食養科年度別集計

### 1)栄養指導件数

・ 回覧統計(医事算定実績)を用いた。

	入院時	外来時	合計
21年度	662	413	1,075
22年度	845	571	1,416
23年度	875	392	1,267

### 2)給食数

・ 給食システムより集計

(延べ食数)

種別	21年度	22年度	23年度
一般食	191,353	188,313	158,114
特別食	109,818	116,367	134,652
合計	301,171	304,680	292,766

## 2.6.9 NST(栄養サポートチーム)活動実績

・回覧統計(栄養サポートチーム加算)を用いた。(H22.9月算定開始)

	介入件数
22年度	316
23年度	829

## 2.6.10 緩和ケアチーム活動実績

・PCT(緩和ケアチーム)登録台帳より集計

### 1) 緩和ケアチーム実績

		22年度	23年度
ケアチーム実績		件数	件数
緩和ケア外来診察患者数(延べ)		397	281
緩和ケアチーム年間依頼件数		239	172
依頼件数内訳	・がん	229	164
	・非がん	10	8
	・小児(~15歳)	0	0

### 2) 依頼時の治療状況

治療状況	22年度		23年度	
	件数	%	件数	%
がん化学療法中および根治的放射線治療中 (骨転移、脳転移などを対象とした治療のみの場合は除く)	3	1.3	1	0.6
がん化学療法中	105	45.9	52	31.7
根治的放射線治療中 (骨転移、脳転移などを対象とした治療のみの場合は除く)	7	3.1	3	1.8
がん化学療法、根治的放射線治療のいずれも行っていない	114	49.8	108	65.9
合計	229		164	

### 3) 初診時の依頼内容(重複あり)

依頼件数に対する割合

依頼内容	22年度		23年度	
	件数	%	件数	%
がん疼痛	178	74.5	90	52.3
疼痛以外の身体症状	77	32.2	42	24.4
精神症状	45	18.8	68	39.5
家族ケア	5	2.1	8	4.7
倫理的問題(鎮静など)	0	0.0	0	0.0
地域との連携・退院支援	7	2.9	3	1.7
その他	13	5.4	11	6.4

#### 4)PS値

PS値	22年度		23年度	
	件数	%	件数	%
PS=0(無症状で社会活動ができ、発症前と同等にふるまえる)	0	0.0	0	0.0
PS=1(軽度の症状があり、肉体労働は制限を受けるが、歩行、軽労働は可能)	45	18.8	28	16.3
PS=2(歩行や身の回りのことはできるが時に介助が必要。1日の50%以上は起居)	93	38.9	45	26.2
PS=3(身の回りのことはある程度できるがしばしば介助が必要。1日の50%以上は就床)	60	25.1	53	30.8
PS=4(身の回りのこともできず、常に介助がいり、終日就床が必要)	41	17.2	46	26.7
合計	239		172	

#### 5)転帰(年間)

依頼件数に対する割合

転 帰	22年度		23年度	
	件数	%	件数	%
介入終了(生存)	0	0.0	1	0.6
退院 (退院の内、在宅ケアを導入した数)	175 (21)	73.2 (8.8)	96 (26)	55.8 (15.1)
死亡退院	63	26.4	70	40.7
緩和ケア病棟転院	0	0.0	0	0.0
その他の転院	1	0.4	5	2.9

#### 6)緩和ケアチームによる教育・研修回数(年間)

教育・研修	22年度	23年度
	回数	回数
医療者向け教育研修会(院内・院外)の開催回数	13	12
地域住民向けの講演会の開催回数	1	2
合計	14	14

### 3 診療統計(DPC関係)

#### 3.1 DPC統計(MDC6)・疾患別平均在院日数

・EVEデータにてMDC6別の年間件数上位20位を抽出した。(医科健保診療のみ対象)

##### 21年度

順位	MDC6	MDC6名称	件数	平均日数
1	140010	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害	399	10.2
2	040080	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎	383	15.2
3	060035	大腸(上行結腸からS状結腸)の悪性腫瘍	293	9.9
4	060040	直腸肛門(直腸・S状結腸から肛門)の悪性腫瘍	250	10.9
5	120180	胎児及び羊膜腔に関連する母体ケア、予想される分娩の諸問題	223	11.2
6	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	212	5.5
7	160800	股関節大腿近位骨折	205	27.6
8	060020	胃の悪性腫瘍	193	23.0
9	040040	肺の悪性腫瘍	179	21.1
10	010060	脳梗塞	173	33.5
11	060340	胆管(肝内外)結石、胆管炎	161	15.0
12	060100	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。)	143	4.1
13	060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	124	13.7
14	150010	ウイルス性腸炎	124	5.3
15	110080	前立腺の悪性腫瘍	121	10.6
16	090010	乳房の悪性腫瘍	117	11.8
17	050130	心不全	113	21.6
18	07034x	脊柱管狭窄(脊椎症を含む。)	102	14.8
19	130030	非ホジキンリンパ腫	100	14.5
20	120020	子宮頸・体部の悪性腫瘍	100	12.4

##### 22年度

順位	MDC6	MDC6名称	件数	平均日数
1	140010	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害	451	9.4
2	040080	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎	368	15.8
3	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	321	5.5
4	060035	大腸(上行結腸からS状結腸)の悪性腫瘍	288	9.4
5	060040	直腸肛門(直腸・S状結腸から肛門)の悪性腫瘍	256	9.9
6	120180	胎児及び羊膜腔に関連する母体ケア、予想される分娩の諸問題	250	12.6
7	060020	胃の悪性腫瘍	241	17.2
8	160800	股関節大腿近位骨折	200	28.0
9	110080	前立腺の悪性腫瘍	182	9.1
10	010060	脳梗塞	158	35.4
11	040040	肺の悪性腫瘍	157	15.9
12	060100	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。)	143	4.0
13	050130	心不全	136	24.0
14	060340	胆管(肝内外)結石、胆管炎	133	13.6
15	120020	子宮頸・体部の悪性腫瘍	124	7.4
16	020110	白内障、水晶体の疾患	119	6.0
17	060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	117	13.8
18	06007x	膵臓、脾臓の腫瘍	115	22.5
19	060160	鼠径ヘルニア	115	5.9
20	150010	ウイルス性腸炎	105	6.1



## 23年度

順位	MDC6	MDC6名称	件数	平均日数
1	040080	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎	499	14.4
2	140010	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害	499	8.2
3	120180	胎児及び羊膜腔に関連する母体ケア、予想される分娩の諸問題	320	9.1
4	060035	大腸(上行結腸からS状結腸)の悪性腫瘍	296	11.5
5	060040	直腸肛門(直腸・S状結腸から肛門)の悪性腫瘍	292	10.0
6	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	280	4.4
7	160800	股関節大腿近位骨折	247	20.4
8	060020	胃の悪性腫瘍	233	14.5
9	020110	白内障、水晶体の疾患	190	6.0
10	060100	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。)	182	4.1
11	06007x	膵臓、脾臓の腫瘍	168	17.8
12	010060	脳梗塞	165	28.6
13	040040	肺の悪性腫瘍	150	17.1
14	050130	心不全	144	24.4
15	060340	胆管(肝内外)結石、胆管炎	135	11.7
16	110080	前立腺の悪性腫瘍	134	9.1
17	150010	ウイルス性腸炎	115	5.2
18	060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	113	12.9
19	130030	非ホジキンリンパ腫	107	19.1
20	060335	胆嚢水腫、胆嚢炎等	105	12.6

### 3.2 救急搬送による入院件数

- ・ 患者が退院する際に、その患者が救急搬送されて入院したものであったかどうかを調べることで、当院に入院した患者の「救急搬送」割合がわかる。
- ・ 対象期間に退院した患者のうち、DPC算定患者で保険請求したものを掲載。(退院ベース)

(単位：人)

	退院患者数	うち救急搬送患者	割合
21年度	8,001	1,226	15.3%
22年度	8,625	1,089	12.6%
23年度	9,155	1,369	15.0%

## 4 予防医療

### 4.1 年度別人間ドック検診数

- ・ 人間ドック日計表より集計

(単位：人)

	日帰り	通院2日	合計
21年度	1,857	214	2,071
22年度	1,895	204	2,099
23年度	1,892	210	2,102

## 5 医療安全・安全対策

### 5.1 針刺し・切創、皮膚・粘膜汚染件数

・ 職員からの届出件数より(全職員対象)

#### 1) 針刺し・切創件数

##### ① 部門別事例発生件数

	23年度
病室	4
手術室	2
救急外来	2
分娩室	1
スタッフルーム	1
外来	1
その他	2

##### ② 原因器材

	23年度
ニードル針	1
翼状針	1
注射用針	7
留置針	1
メス刃	1
特殊器材	2

##### ③ 事例発生状況

	23年度
廃棄途中	3
器材使用中(採血中)	6
リキャップ	1
準備中(注射針等)	2
その他	1

#### 2) 皮膚・粘膜汚染報告

##### ① 部門別事例発生件数

	23年度
病室	3
手術室	2
外来処置	1
内視鏡室	1

##### ② 事例発生状況

	23年度
手術中	2
処置中	4
抜針時	1

##### ③ 曝露部位

	23年度
眼粘膜	6
傷のある皮膚	1

## 6 地域連携

・地域医療支援病院業務報告書より集計

### 6.1 年度別紹介患者の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
21年度	919	823	1,000	1,017	1,011	919	1,002	829	888	848	848	952	11,056
22年度	958	891	1,074	1,099	1,014	951	944	982	1,041	919	964	1,068	11,905
23年度	901	917	1,132	1,091	1,185	1,021	1,108	1,143	1,012	974	1,026	1,020	12,530

### 6.2 年度別逆紹介患者の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
21年度	591	511	591	544	593	603	587	484	566	461	515	662	6,708
22年度	590	498	614	620	581	557	512	583	636	567	587	715	7,060
23年度	554	494	637	620	646	595	588	596	582	517	624	661	7,114

## 7 在宅医療

・訪問看護日誌より集計

### 7.1 訪問看護ステーション利用状況

	実利用者数	延べ訪問回数	うち時間外		合計
			延べ訪問回数	延べ電話回数	
21年度	110	4,371	167	346	513
22年度	117	4,195	197	358	555
23年度	110	4,618	225	336	561

### 7.2 訪問リハビリテーション利用状況

	実利用者数	延べ訪問回数
21年度	110	2,859
22年度	105	3,062
23年度	115	3,128

### 7.3 在宅介護支援センター利用状況

	利用者数	居宅介護サービス
21年度	92	779
22年度	95	771
23年度	101	772

## 8 教育研修その他

### 8.1 研修医一人あたりの指導医数

	21年度	22年度	23年度
指導医数	51	59	58
初期研修医数	10	14	11
指導医数/研修医数	5.1	4.214	5.273

## 8.2 臨床研修マッチング率

	21年度	22年度	23年度
募集定員	6	6	5
マッチ者数	6	4	3
マッチング率(%)	100.0	66.7	60.0

## 8.3 看護師離職率

	23年度
離職率(%)	2.6

## 8.4 職員満足度

■部局 市立病院全体

■有効回答 1・職員数:900人 2・回答者:562人 3・回答率:62.4%

■職種 1・正規:345人 2・臨時:141人 3・その他:76人

■性別 1・男性:113人 2・女性:429人

23年度結果 (単位:点/位)

	満足度(各4点満点)	重要度(各4点満点)		重要度 - 満足度					
		平均	順位	項目別	項目別	数値	順位		
I 仕事の手ごたえに関する満足度	問1) 私は、いまの仕事にやりがいを感じている。	2.85	2位	2.71	3.48	1位	3.25	0.63	19位
	問2) 私は、仕事の中で創意工夫を活かすことができる。	2.41	9位		3.07	19位		0.66	18位
	問3) 私は、仕事を通じて多くのことを学んでいる。	<b>3.29</b>	<b>1位</b>		3.37	2位		<b>0.08</b>	<b>25位</b>
	問4) 自分に何を期待しているか、上司は言ってくれる。	2.25	16位	(1位)	3.05	20位	(2位)	0.80	13位
	問5) 努力すれば成果が上がる仕事である。(自信が持てる仕事である)	2.74	4位		3.26	7位		0.52	20位
II 病院の姿勢に関する満足度	問6) 私は、当院の将来に明るい期待を持っている。	2.40	11位	2.62	3.14	15位	3.17	0.74	16位
	問7) 当院の医療サービスは、地域住民や患者さんから高く評価されている。	2.49	8位		3.20	9位		0.71	17位
	問8) 当院で働くことに、誇りがもてる。	2.74	4位		3.10	18位		0.36	24位
	問9) 当院では、就業上の安全に配慮している。	2.69	6位	(2位)	3.20	9位	(3位)	0.51	21位
	問10) 総合的に考えて、当院は良い病院だと思う。	2.77	3位		3.20	9位		0.43	23位
III 経営の姿勢に関する満足度	問11) 職場には経営に対する考え方が浸透している。	1.97	18位	2.13	2.94	24位	3.07	0.97	10位
	問12) 当院の目標・方針を理解している。	2.41	9位		<b>2.92</b>	<b>25位</b>		0.51	22位
	問13) 当院では、職員が大切に扱われている。	1.94	20位		3.24	8位		1.30	5位
	問14) 当院は、職員の提案に関心を示してくれる。	2.03	17位	(3位)	3.11	17位	(4位)	1.08	6位
	問15) 当院は業務改善に努めている。	2.29	13位		3.15	14位		0.86	12位
IV 働きやすい職場環境に関する満足度	問16) 職場では、お互いに相談し合う雰囲気がある。	2.55	7位	1.94	3.32	4位	3.30	0.77	14位
	問17) 職員は、適正(人数)に配置されている。	1.61	24位		3.32	4位		1.71	2位
	問18) 自分の考えを自由に上司、リーダーに言える。	2.30	12位		3.18	12位		0.88	11位
	問19) 仕事と家庭生活が両立できている。	2.29	13位	(4位)	3.31	6位	(1位)	1.02	8位
	問20) 仕事上、ストレスがたまることが多い。(※評価基準は逆転方式)	<b>0.95</b>	<b>25位</b>		3.37	2位		<b>2.42</b>	<b>1位</b>
V 公平な人事処遇に関する満足度	問21) 当院では、公正で透明性の高い業務評価がなされている。	1.94	20位	1.93	3.01	22位	3.06	1.07	7位
	問22) 上司は、自分がいい仕事をしたときは評価してくれる。	2.28	15位		3.03	21位		0.75	15位
	問23) 昇格、昇進等の公平さを信頼している。	1.95	19位		2.96	23位		1.01	9位
	問24) 私は、今の給与水準について特に大きな不満はない。	1.74	22位	(5位)	3.17	13位	(5位)	1.43	3位
	問25) 超勤時間・超勤手当について特に大きな不満はない。	1.72	23位		3.12	16位		1.40	4位
結果	総合評価(100点満点)		56.60		79.2		22.62		

## 8.5 職員喫煙率

	23年度
職員数	803
喫煙者数	62
喫煙率(%)	7.7

## 9.2 年度別医療福祉相談内容別件数

・相談受付集計表より

	経済的・医療費制度等	受診や入院中療養について	在宅療養について	退院・転院・施設利用について	社会復帰について	介護保険制度について	心理的・精神的悩み等	がん相談	その他	合計
21年度	490	18	297	6,938	2	375	155	510	346	9,131
22年度	897	17	257	7,468	3	346	118	308	406	9,820
23年度	1,113	95	185	8,341	9	334	97	489	313	10,976

## 10 業務量

### 10.1 各科業務量

- ・ 月次収益報告より集計(外来分は高松診療所を含む)
- ・ 23年10月から、「救急科」が新設された。

#### 23年度(入院)

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
内科	2,119	1,762	1,827	2,408	2,011	2,130	2,182
脳神経内科	733	702	775	876	853	872	788
循環器科	848	907	957	1,034	783	772	864
小児科	484	584	502	469	574	528	497
外科	2,007	1,848	2,068	1,788	1,837	1,819	1,911
整形外科	1,037	1,124	1,225	1,252	1,001	980	1,074
脳神経外科	451	538	429	577	695	510	647
泌尿器科	380	341	421	391	526	317	332
皮膚科	74	86	81	81	73	95	70
産婦人科	912	1,035	942	1,006	1,045	1,004	918
眼科	113	140	154	138	125	161	155
耳鼻咽喉科	495	346	375	419	365	349	399
放射線科	144	176	185	163	110	154	92
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0
透析科	75	41	60	35	35	5	2
形成外科	190	153	111	158	179	180	165
救急科	—	—	—	—	—	—	84
歯科	86	121	145	92	118	173	128
合計	10,148	9,904	10,257	10,887	10,330	10,049	10,308
収益(千円)	640,902	584,736	642,621	634,620	635,103	624,758	639,612

	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
内科	2,125	1,859	1,983	1,814	2,285	24,505	2,042
脳神経内科	883	716	674	673	747	9,292	774
循環器科	919	1,096	1,036	925	1,057	11,198	933
小児科	570	685	511	501	552	6,457	538
外科	1,811	1,817	1,719	1,712	1,778	22,115	1,843
整形外科	949	1,077	1,148	1,140	1,085	13,092	1,091
脳神経外科	613	574	840	508	499	6,881	574
泌尿器科	298	245	194	262	233	3,940	328
皮膚科	48	99	98	123	108	1,036	86
産婦人科	859	987	1,053	1,004	984	11,749	979
眼科	179	164	112	176	270	1,887	157
耳鼻咽喉科	300	347	315	262	421	4,393	366
放射線科	94	117	81	147	81	1,544	129
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0
透析科	29	9	19	44	11	365	31
形成外科	152	192	173	126	189	1,968	164
救急科	110	125	65	98	76	558	47
歯科	140	129	123	103	107	1,465	122
合計	10,079	10,238	10,144	9,618	10,483	122,445	10,204
収益(千円)	626,948	654,898	641,675	630,210	651,896	7,607,979	633,998

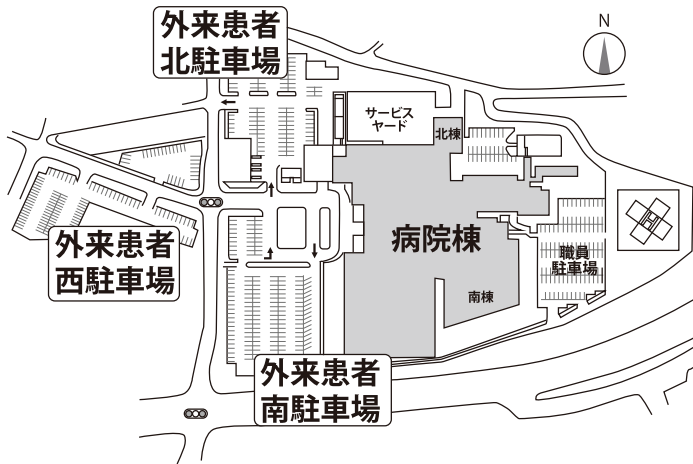
## 23年度(外来)

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
内科	3,236	3,573	3,815	3,228	3,627	3,197	3,063
脳神経内科	736	812	882	722	758	684	645
循環器科	1,458	1,493	1,551	1,273	1,332	1,269	1,212
小児科	1,359	1,412	1,616	1,456	1,616	1,388	1,289
外科	2,122	2,138	2,388	1,962	2,116	1,947	1,933
整形外科	2,206	2,156	2,575	2,511	2,629	2,441	2,152
脳神経外科	443	478	524	285	457	370	410
泌尿器科	951	939	1,092	926	970	901	873
皮膚科	1,086	1,015	1,134	1,036	1,160	1,072	970
産婦人科	1,553	1,370	1,456	1,204	1,348	1,260	1,204
眼科	1,001	833	953	921	998	993	991
耳鼻咽喉科	954	907	925	922	1,001	862	795
放射線科	679	592	707	689	767	513	577
麻酔科	101	70	54	48	56	47	48
透析科	560	557	565	558	587	541	535
形成外科	662	554	588	539	661	598	504
救急科	—	—	—	—	—	—	620
歯科	462	417	446	475	540	487	437
ドック	165	182	220	204	222	205	203
合計	19,734	19,498	21,491	18,959	20,845	18,775	18,461
高松診療所	4,002	3,625	4,160	3,805	3,884	3,971	3,735
収益(千円)	205,911	206,226	228,494	217,843	240,090	221,403	211,004

	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
内科	3,020	3,128	3,010	3,077	3,070	39,044	3,253
脳神経内科	670	584	632	609	561	8,295	691
循環器科	1,364	1,184	1,254	1,238	1,304	15,932	1,328
小児科	1,406	1,466	1,337	1,314	1,331	16,990	1,416
外科	1,916	1,761	1,730	1,883	1,882	23,778	1,981
整形外科	2,116	2,083	2,040	1,947	2,271	27,127	2,260
脳神経外科	329	375	276	352	342	4,641	387
泌尿器科	910	883	847	894	887	11,073	923
皮膚科	964	904	826	870	1,008	12,045	1,004
産婦人科	1,353	1,373	1,380	1,434	1,401	16,336	1,361
眼科	918	1,010	951	1,004	1,173	11,746	979
耳鼻咽喉科	816	867	830	816	1,006	10,701	892
放射線科	704	602	569	581	662	7,642	637
麻酔科	57	63	63	71	89	767	64
透析科	522	554	542	529	571	6,621	552
形成外科	535	457	440	460	505	6,503	542
救急科	598	745	667	573	558	3,761	313
歯科	450	439	395	484	472	5,504	459
ドック	204	178	183	211	165	2,342	195
合計	18,852	18,656	17,972	18,347	19,258	230,848	19,237
高松診療所	3,582	3,775	3,539	3,422	3,746	45,246	3,771
収益(千円)	223,833	215,323	217,255	225,905	230,046	2,643,333	220,278

## 駐車場ご利用案内

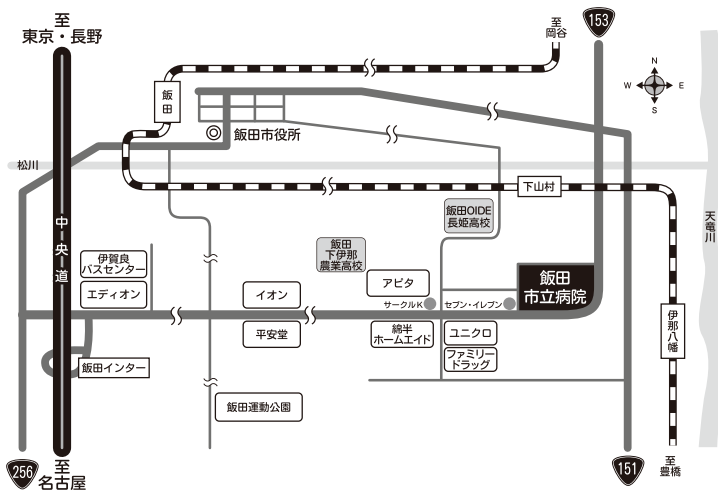


- ◎ 診察、検査の方は、北駐車場・南駐車場をご利用ください。駐車料金が無料になりますので、中央受付にて駐車料金の無料化を受けてください。
- ◎ 車椅子使用者専用及び身障者駐車場（収容台数 7台）をご利用の方は、職員にお申し出ください。
- ◎ 付き添いなどでご来院の方は、西駐車場をご利用ください。

	収容台数	利用時間	利用料金
南駐車場	162台	24時間	60分以内無料、以後30分ごとに100円
北駐車場	104台		診察、検査の方は無料
西駐車場	114台		無料

## アクセスマップ

飯田市立病院までの各種交通手段



- お車でお越しの方へ
- ・中央自動車道飯田 I.C.より車で 7分 (約 3.5km)
- 高速バスでお越しの方へ
- ・飯田駅より車で 7分
  - ・伊賀良停留所 (飯田 I.C. 近く) より車で 7分
- JRでお越しの方へ
- ・JR 飯田線飯田駅 (飯田市内) より車で 10分
  - ・JR 飯田線伊那八幡駅より徒歩 15分 (約 1km)

### 飯田市 市民バス

- ・市内循環線
  - ・飯田駅前 千代線
  - ・飯田駅前 久堅線
  - ・飯田駅前 三穂線
- 各線 市立病院バス停下車

### 信南交通 乗合バス

- ・富田 氏乗線
  - ・飯田 喬木大島線
  - ・市田線 (市立病院経由)
  - ・遠山郷線
- 各線 市立病院バス停下車

### 高速バス

- 東京方面から
- ・信南交通 新宿線
- 名古屋方面から
- ・信南交通 名古屋線





## 飯田市立病院

〒395-8502

長野県飯田市八幡町 438 番地

TEL .0265-21-1255(代表) FAX

<http://www.imh.jp/>